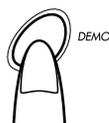
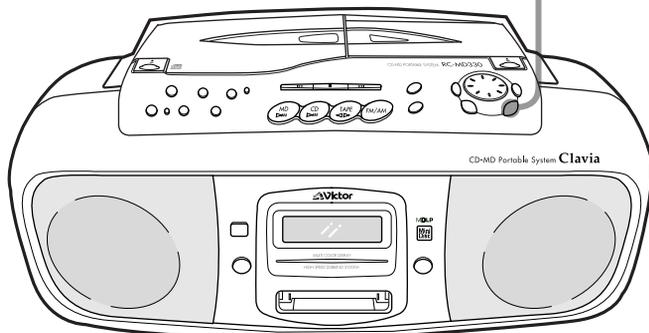
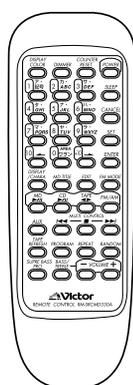
取扱説明書

CD-MDポータブルシステム

型名 RC-MD330

● デモ表示について

表示窓のデモ表示を「入⇔切」することができます。詳しくは 16 ページをご覧ください。

Clavia
クラビア

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

● もくじは 2 ページにあります。

(Clavia とは、ドイツ語の「鍵盤楽器」の意からの造語です)

ーお買いあげありがとうございますー

ご使用の前にこの**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 3 ～ 6 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0493-001B

もくじ

お使いになる前に　ページ

準備　ページ

聞く　ページ

録音する（MD、テープ）　ページ

編集する（リモコンを使います）　ページ

他の機器・タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

MDLP＊について

- MDLPはMD規格に適合し、新しい音声圧縮方式のATRAC3を採用した2倍（または4倍）長時間録音・再生モードの機能を持ったMDレコーダー／プレーヤーまたはATRAC3による音声録音されているMDメディア（レコーダブル・メディアを除く）に表示されています。

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

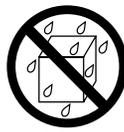
注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

● 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

● 内部に水や異物が入ってしまったとき
● 落としたり、破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

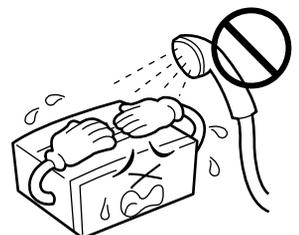
分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

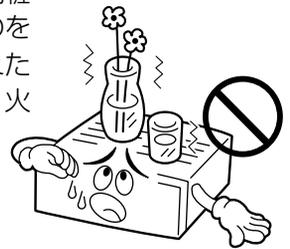
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

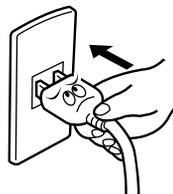
- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

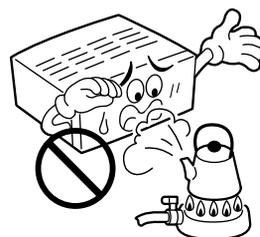
⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

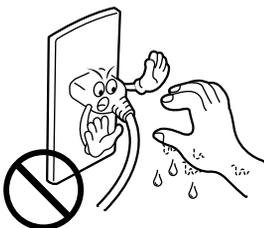
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 専用のラック以外の本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

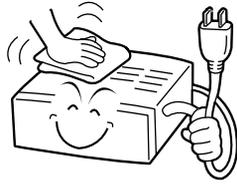
長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

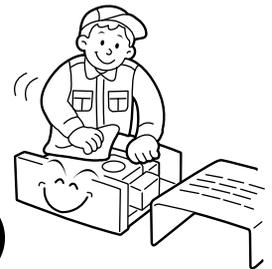
手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

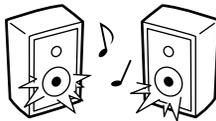
電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
- 電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

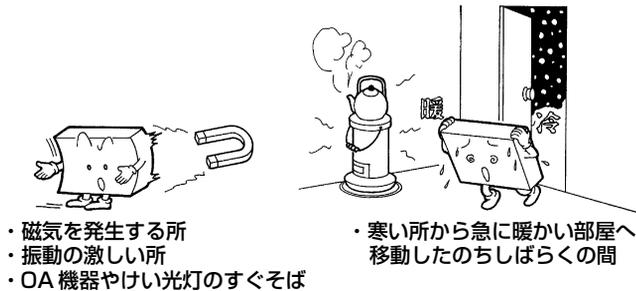
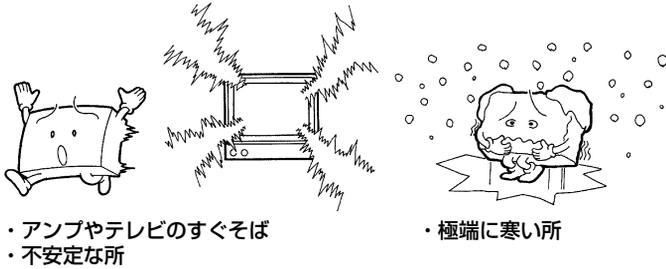
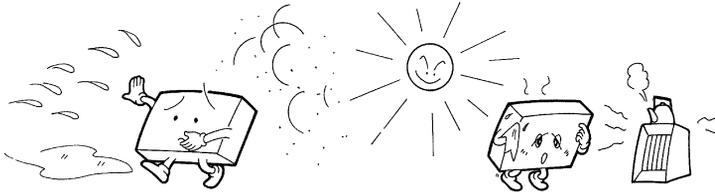
使用上のご注意

本機やテープ、CD、MDの置き場所について

● 故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所　　・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所
・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば
・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

カセットデッキについて

本機はノーマルテープ（TYPE I）の録音・再生と、ハイポジションテープ（TYPE II）の再生ができます。メタルテープ（TYPE IV）には対応しておりません。メタルテープを使用しますと、音質が異ったり前の音が消えないで残るなどの原因になります。

ヘッドホンについて

● ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

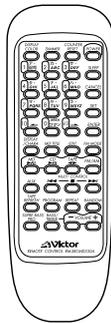
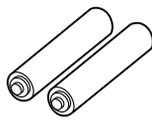
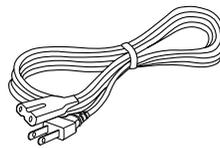
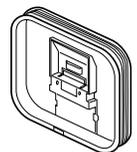
露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

● 暖房を始めた直後
● 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
● 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

付属品の確認

お使いになる前に付属品をお確かめください。

リモコン
RM-SRCMD330A*
（1個）

単3形乾電池
（2本）（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

AMループアンテナ
（1個）

*リモコンの型名は、色によって異なります。
・ブルー　：RM-SRCMD330A
・ホワイト：RM-SRCMD330W
・ピンク　：RM-SRCMD330P
・オレンジ：RM-SRCMD330D
・シルバー：RM-SRCMD330S

各部の名前 ―□内の数字のページに説明があります。―

CD部・MD部・共通部

	「CD」/「MD」のとき
⏮と⏭	曲の頭出し、早送り/早戻し18
■	CD停止/MD停止18

チューナー部・デッキ部・タイマー部

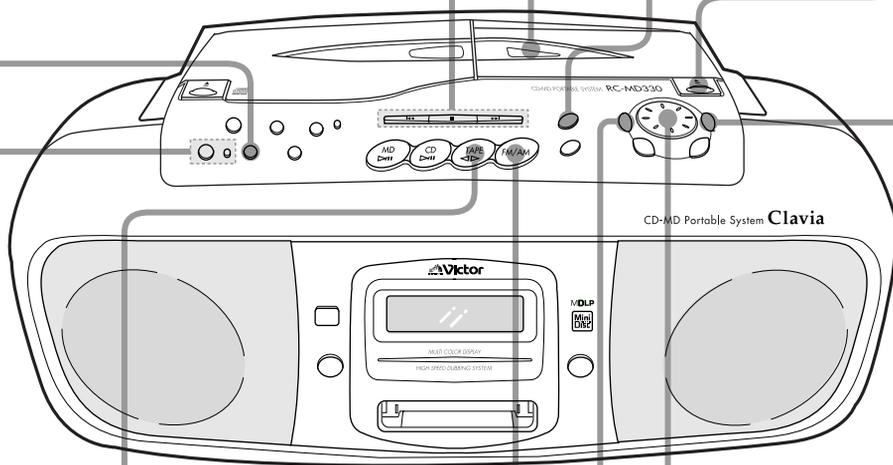
TAPE RECボタン30

MULTI CONTROLボタン
ソース（音源）によって働きが異なります。

	⏮と⏭	■
テープのとき（TAPE）	巻戻し（REW）と早送り（FF） 23	テープの停止 23
放送のとき（TUNER）	オート選局/マニュアル選局 24	プリセット選局（PRESET TUNING） 24

カセットホルダー
ここを開けてテープを入れます。

REV. MODEボタン22

▲（テープ取出し）ボタン22

TAPE ◁ ▷ボタン16 22

CLOCKボタン14 19

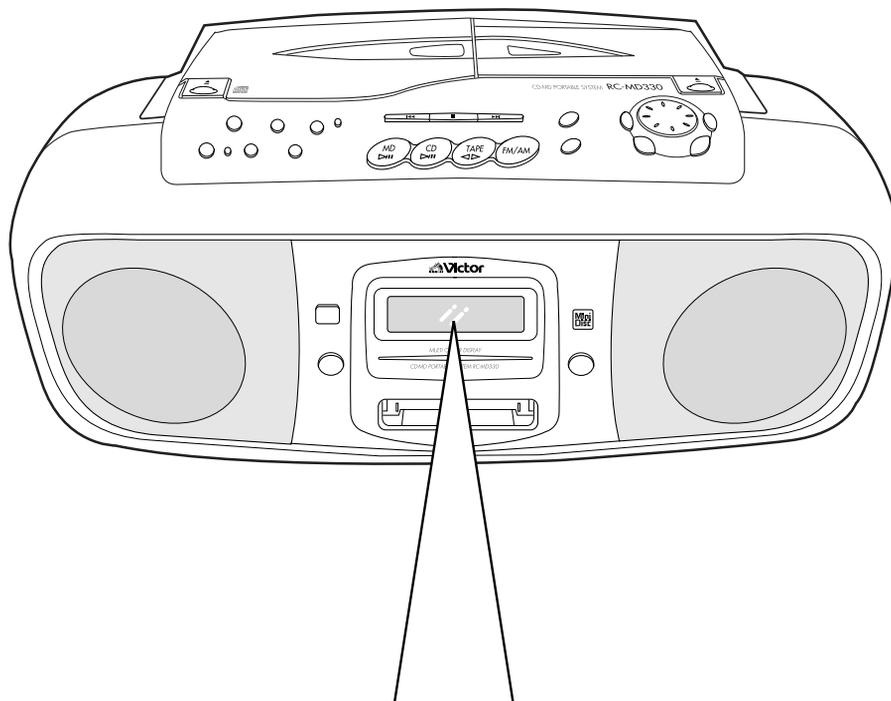
FM/AMボタン16 24

MULTI JOGダイヤル14 43

TAPE REFRESHボタンとランプ22 27

TIMERボタン43

各部の名前（つづき） —☐内の数字のページに説明があります。—

表示窓（ディスプレイ）

ランダム演奏表示 21
（RNDは…RANDOM（ランダム）の略字です）

プログラム演奏のモード表示 20
（PRGMは…PROGRAM（プログラム）の略字です）

タイマーモード表示 43

文字情報表示部
曲番号や演奏時間、放送局名などを表示します。

リピート演奏表示 21

MDの録音・再生モード表示 18 27

リバースモード表示 22

FM放送のモード表示 24

SLEEP　REC PRGM RND　ALL　MONO ST　SP LP2 LP4
MD in　MD REC　CD　TAPE REC　TUNER　BASS

MDイン表示
MDを入れると表示されます。18

テープの走行方向表示 22

ソース（音源）表示
⌒が今現在選ばれているソース（音源）を表します。
録音状態にすると、RECが表示されます。
例：CDをMDに録音中は
MD REC　CD　TAPE　TUNER
と表示されます。

スリープタイマー表示 45

スーパーバスプロ表示 17

リモコン

- DIMMER（ディマー）ボタン[45]
- 数字ボタン（1～10、＋10）[15][19][20][24][36]
- AREA（エリア）・0 ボタン[15]
  エリアガイドのモードにすることができます。「TEL 0」が表示窓に表示されます。
- DISPLAY/CHARA（キャラクター）ボタン[14][34]
- MD TITLE（タイトル）ボタン[34]
- EDIT（エディット）ボタン[36]
- PROGRAM（プログラム）ボタン[20]
- BASS/TREBLE（バス/トレブル）ボタン[17]
- COUNTER RESET（カウンター リセット）ボタン[30]
- SLEEP（スリープ）ボタン[45]
  おやすみタイマーのモードにすることができます。
- CANCEL（キャンセル）ボタン[14][20]
- SET（セット）ボタン[15][25][34]
- ENTER（エンター）ボタン[34]
- FM MODE（モード）ボタン[24]
- RANDOM（ランダム）ボタン[21]
- REPEAT（リピート）ボタン[21]
  リピート演奏ができます。
- VOLUME（ボリューム）ボタン[17]
  ・＋、－　：音量調節に使います。
  BASS/TREBLEボタンを押したときは、音質調節にも使います。

説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

リモコンの乾電池の入れかた

1　裏ブタを開ける

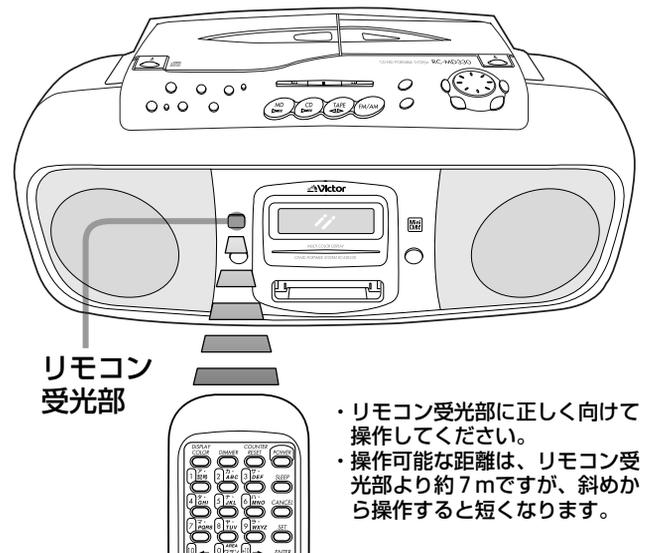
2　乾電池を入れる

単3形乾電池を2本入れます。
リモコン内部の表示に合わせて極性（＋、－）を正しく入れます。

3　裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

● リモコン操作のしかた

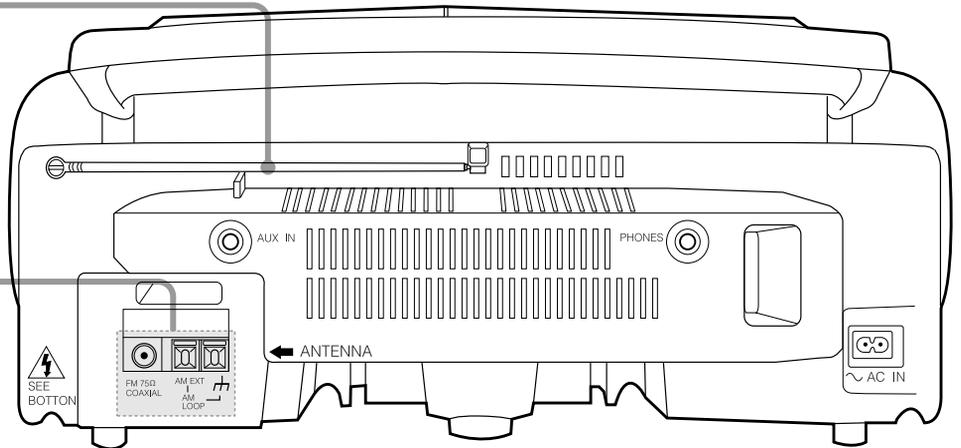
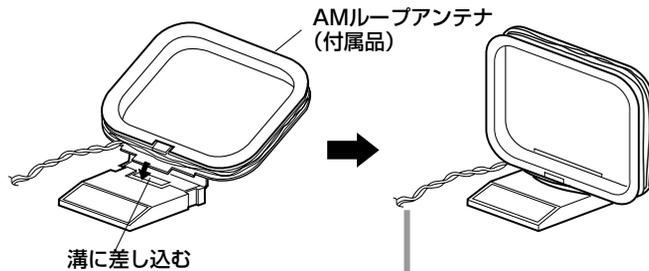
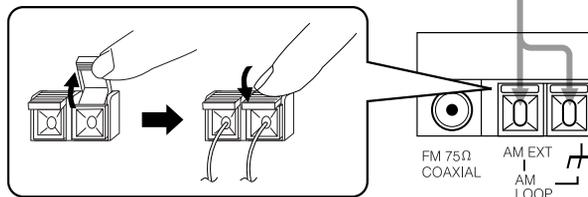
・リモコン受光部に正しく向けて操作してください。
・操作可能な距離は、リモコン受光部より約7mですが、斜めから操作すると短くなります。

〈お知らせ〉

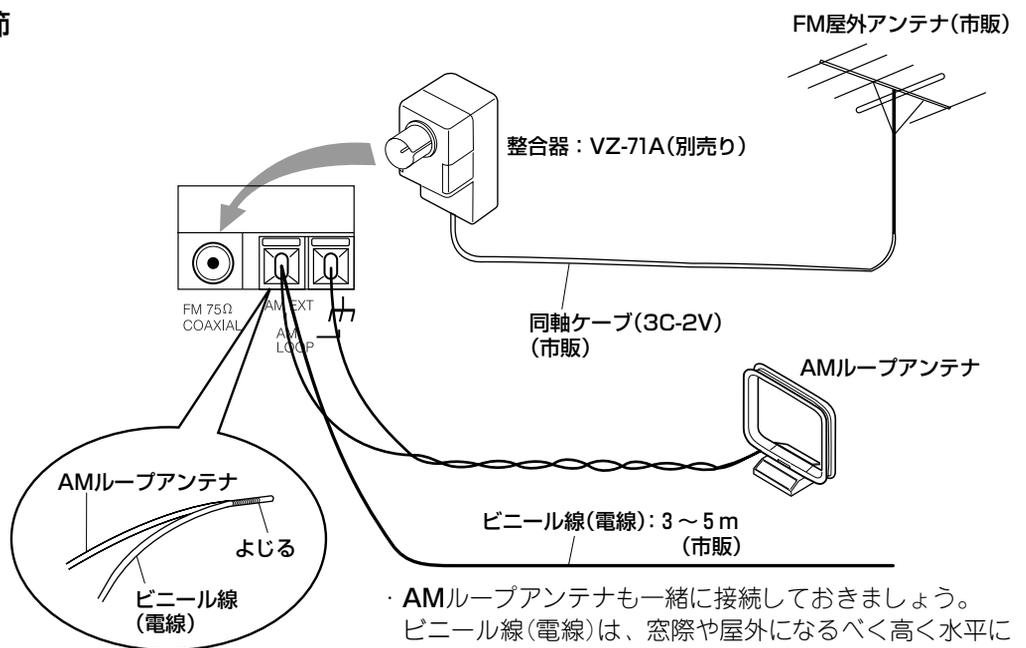
- リモコン操作できる距離が短くなったときは、電池が消耗してきています。
  2本とも新しい電池（単3形アルカリ乾電池など）に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。
  乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- リモコンを落としたり､強い衝撃を与えないでください。
- 他のラジオにノイズ（雑音）が入るときは、離してお使いください。
- 動作しないことを避けるため、次のような状態で使用しないでください。
  ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。
  ・リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき。

接続 ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

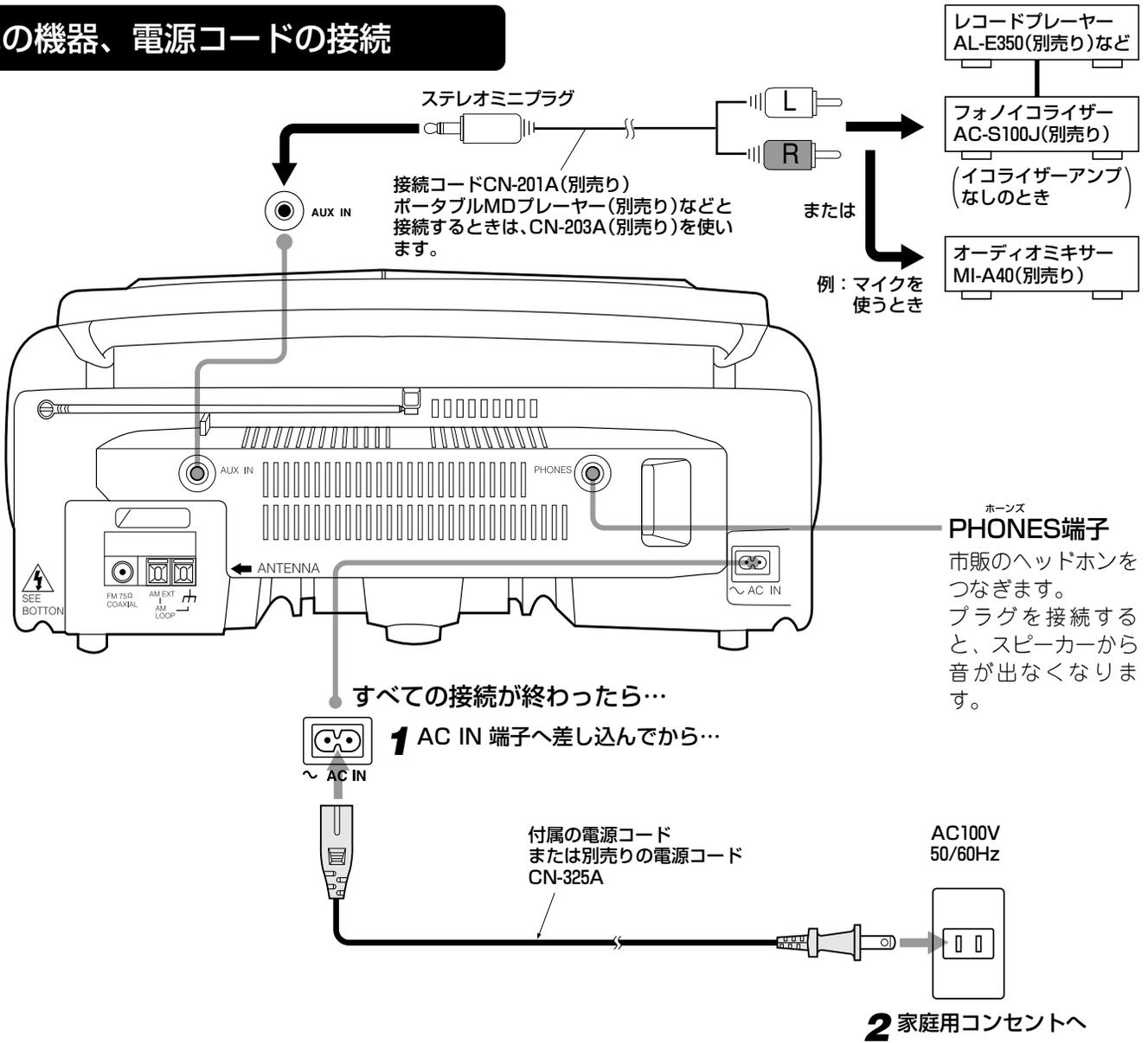
アンテナの接続と調節

ロッドアンテナ（FM放送用）
伸ばして最も良く受信できるように長さ、角度を調節します。

外部アンテナ端子
下記の説明参照。

● AMループアンテナの接続と調節

〈お知らせ〉
- アンテナを接続しないと､AM放送を聞くことはできません。
- AMループアンテナは､金属製の机の上やパソコン、テレビなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

● 屋外アンテナの接続と調節

- ･FM放送の場合､通常はロッドアンテナの長さと角度を調節し、最も良く受信できるようにします。
- ･雑音が多くて聞きにくいときは、市販の屋外用のFMアンテナを使います。
  マンションなどの、壁の共聴アンテナ端子も利用できます。
- ･AM放送の場合、市販のビニール線（3～5ｍの電線）を使います。

･AMループアンテナも一緒に接続しておきましょう。ビニール線（電線）は、窓際や屋外になるべく高く水平に張ると効果的です。

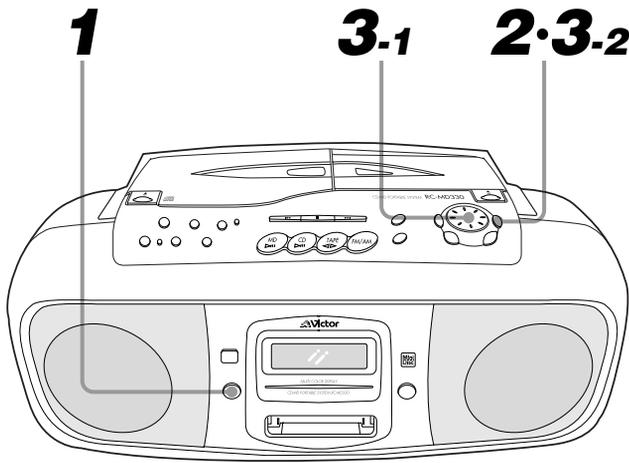
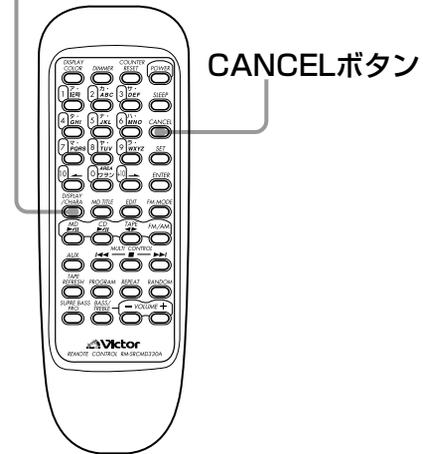
- 屋外アンテナの設置は、技術と経験を必要としますので詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- アンテナを接続したら、コードを引いてみてしっかり接続されているか確認してくだい。

他の機器、電源コードの接続

ご注意

- **本機を持ち運びするときは**
  電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前に外してから運んでください。
  特に屋外用の**FM**アンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 20分以上の停電や電源コードがコンセントから抜いてあると、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

〈お知らせ〉

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：**CN-325A**をお買い求めください。
- 長時間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。
  (電源が切れていても、電源コードが接続されていると約**2 W**の電力を消費します)

時計の合わせかた（現在時刻の設定） ー番号順に操作します。ー

●例：午後１時15分(13：15)に合わせるには…

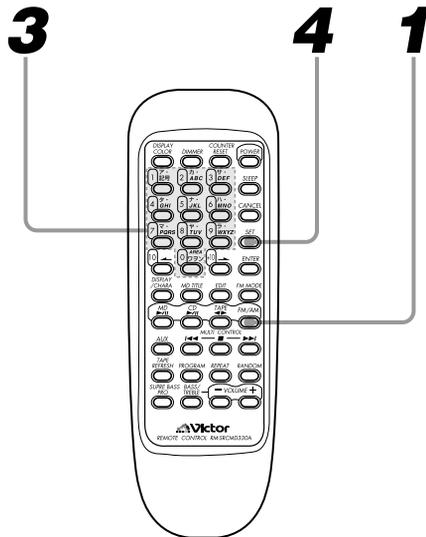
●**正確に時刻を合わせるには**
テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、左記の***2***～***3***の操作をします。

●**使用中に時刻を知るには…（MDが入っていないとき）**
本体はCLOCKボタン、リモコンはDISPLAY/CHARAボタンを「ポン」と押します。元の表示に戻すときは、もう一度「ポン」と押します。

●**20分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは**

時刻表示が取り消され0:00表示の点滅に戻ります。このようなときは、左記***1***～***3***の操作で時刻を合わせ直してください。

〈お知らせ〉
- 「分」表示を合わせているとき、リモコンのCANCELボタンを押すと「時」表示の点滅に戻せます。「時」表示を修正することができます。
- 時計を合わせておくと、タイマーを利用することができます。
- MDが入っているとき時刻を知るには、⑲ページ「表示窓の表示を変えるには」をご覧ください。
- 時計の精度は…
月におよそ１分程度のズレを生じます。タイマーをお使いになるときは、時々時刻を合わせ直してください。

市外局番で放送局を記憶させる（エリアガイド機能）

● 市外局番を入力するだけで、あなたの地域で受信できる放送局が自動で記憶（メモリー）させることができます。

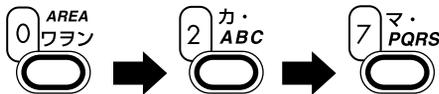
1 FM/AMを押す

・電源が入り、バンドが表示されます。
（FMまたはAMのどちらでもかまいません）

2 アンテナを調節する

・FM放送がうまく受信できるように、ロッドアンテナの長さ・角度を調節します。

3 あなたの地域の市外局番を数字ボタン（０～９）で入力する

例：市外局番が027の場合

・押した数字（例のときはTEL027）が表示窓に表示されます。

12秒以内に

4 SETを押す➡メモリー開始

・AM➡FMの順に周波数の低い放送局からメモリーしていきます。バンドごとに最大15局までです。
・操作をスタートしたバンドの最初の放送局名が表示されると終わりです。

● 市外局番は…

あなたのお住まいの地域のAM放送を、本機から呼出し、メモリーするために使います。別の市外局番を入力すると、その地域のAM放送になります。

● エリアガイド機能によりAM放送は、本機に内蔵されている放送局（46～47ページ参照）を呼出してメモリーします。
FM放送は、市外局番03と06を入力したとき以外はあなたの地域で受信できる放送局を76.0～90.0MHzの間で自動選局し、メモリーします。
市外局番03と06の場合、本機に内蔵されている放送局（03は12局、06は７局）を呼出してメモリーします。

● 市外局番を間違えたときは…

左記**3**の操作をやり直してください。

● メモリー後FM放送が76.0MHz以外表示されないときは…

放送局がメモリーされておりません。受信状態の良い所で操作し直してください。

● 市外局番が５ケタまたは６ケタ地域の場合…

頭から４ケタを入力し、SETボタンを押してください。

● 市外局番が変更になったときは…

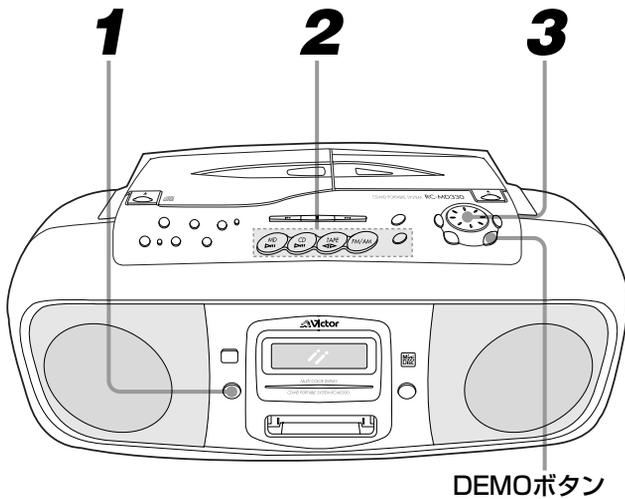
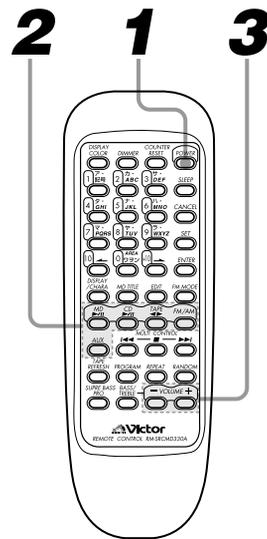
変更される前の市外局番を入力し、SETボタンを押してください。

● 近隣の別のAM放送の方がうまく受信できる地域の場合…

聞きたい放送の地域の市外局番を入力してください。

● 電波事情や地域によっては、エリアガイド機能で記憶されるよりご自分で選局する方が良好に受信できることもあります。このようなときは、その放送局を選んで記憶させてください。➡25ページ参照

〈お知らせ〉
● 電源コードを抜いた状態（または停電）が24時間以上続くと、記憶された放送局は取り消されます。電源コードを接続（または停電が復旧）したら記憶をし直してください。
● 放送局をエリアガイド機能で記憶させると、選局時に放送局名が表示されます。

簡単操作(電源の入/切、イチ押しプレイ) ー番号順に操作します。ー

●基本的な使いかた

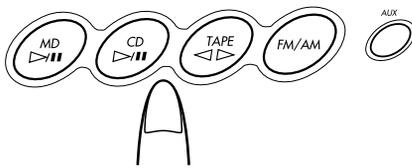
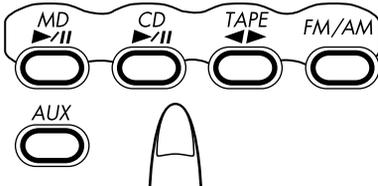
1 POWERを押す

本　体

リモコン

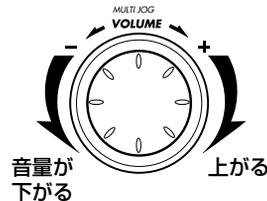
・電源が入り、「HELLO」が表示されたあと選ばれているソース(音源)が表示されます
・CD▷/II、MD▷/II、TAPE◁▷、FM/AM、AUXのいずれかを押したときも電源が入り、ソース(音源)も変わります。
➡イチ押しプレイといいます。
(ディスクやテープが入っていたときは、演奏が始まります)

2 聞きたいソース(音源)を選ぶ

本　体

リモコン

	操　作	参照ページ
CDを聞く	CDを入れCD▷/IIを押す	18
MDを聞く	MDを入れMD▷/IIを押す	18
テープを聞く	テープ入れTAPE◁▷を押す	22
放送を聞く(ラジオ)	FM/AMを押し選局する	24
他の機器の音をを聞く	レコードプレーヤーなどをつなぎAUXを押す	41

3 VOLUMEで音量を調節する

本　体

MULTI JOG VOLUME
音量が下がる　上がる

・VOLUME 0 ～35までの範囲で調節できます。詳しくは 17 ページをご覧ください。

リモコン

・+側を押すと音量が上がり、−側を押すと下がります。

●使い終わったら…

POWERボタンを押して電源を「切」にします。
「SEE YOU」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。

表示窓のデモ表示について

デモ表示でディスプレイカラーを順番に表示させることができます。

DEMO

DEMO START: DISPLAY COLOR CHANGE をスクロール表示したあとデモ表示

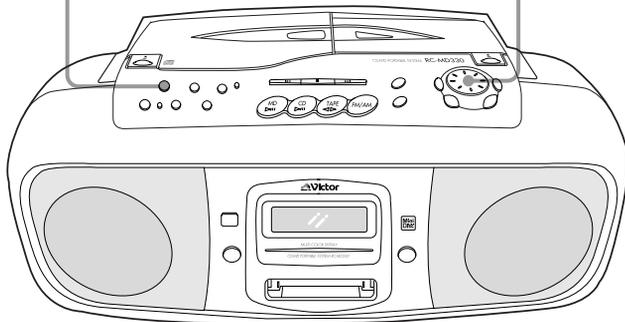
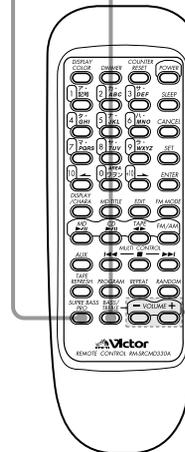
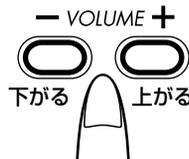
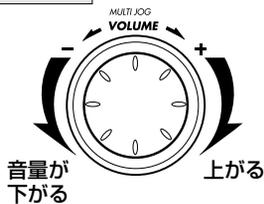
DEMO OFF　: デモ表示を止めるとき(ソースの表示に戻ります)何もボタン操作をしないと約 2 分後にデモ表示に入ります。

・「ポン」と押すごとに選べます。

● デモ表示に入らないようにするときは、DEMOボタンを2秒以上押します。「DEMO CLEAR」が表示され、入らなくなります。

〈お知らせ〉

● 電源「切」のときMD EJECTボタンを押すと、電源が入りMDが入っていたときは出てきます。ただし、ソース(音源)は変わりません。
● 電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。

音量・音質の調節

● 音量の調節

本　体　　リモコン

・VOLUME 0 ～35までの範囲で調節できます。
（お買い上げ時はVOLUME14で、音量は表示窓に約 2 秒間表示されます）

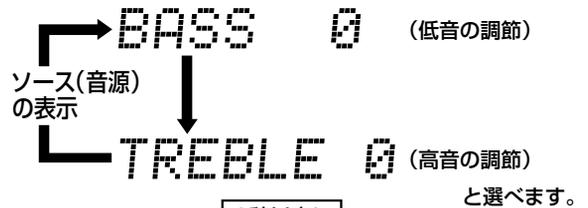
● スーパーバスプロのオン/オフ

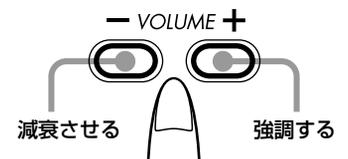
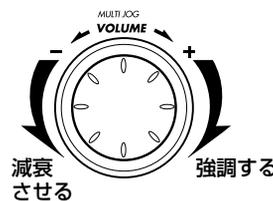
本　体　　リモコン

・押すごとに「オン⟷オフ」が選べます。
「オン」にすると表示窓に BASS が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

● 音質の調節

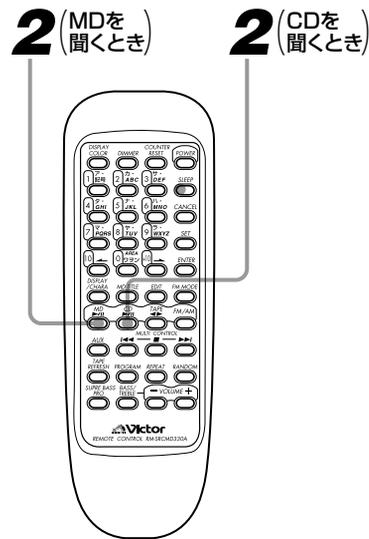
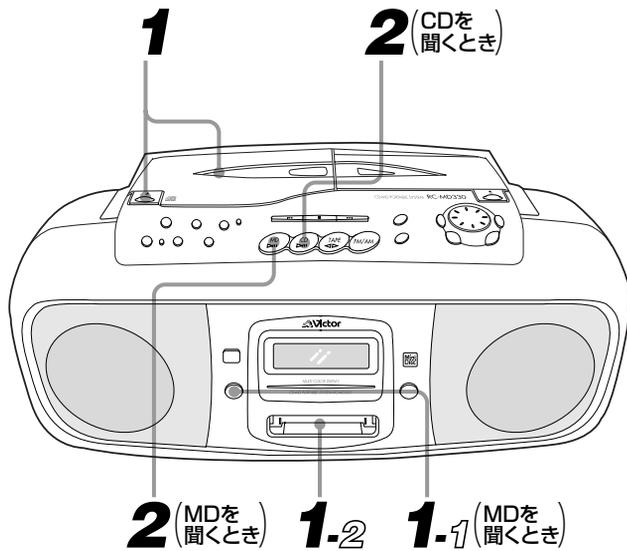
1 BASS/TREBLEを押す

リモコン

2 VOLUMEで調節する

本　体　　リモコン

・ 0 ± 6 の範囲で調節できます。
（リモコンの場合は＋または－側を押します）
・調節から 4 秒後に元のソース（音源）の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

● 音量や音質調節は、スピーカーの音やヘッドホンの音に効きます。録音される音は、影響ありません。

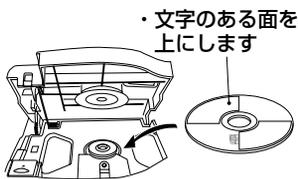
CDを聞く/MDを聞く　ー番号順に操作します。ー

● 全部の曲の演奏

1 ディスクを入れる

・CDを聞くとき

1-1 ▲（CD取出し）を押してCDドアを開ける

1-2 CDを入れる

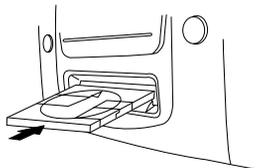
・文字のある面を上にします

1-3 CDドアを押してしめる

・中央から左側を押してください。

・MDを聞くとき

1-1 POWERを押す

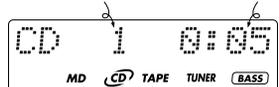
・電源を「入」にします。

1-2 ラベル面を上にし、矢印の方向（⇨または▷）から差し込む。
途中まで入れると自動的に中に引き込まれます。

・MDを入れると表示窓に MD in が表示されます。

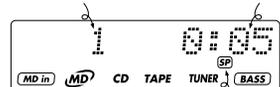
2 CD▷/IIまたはMD▷/IIを押す

・CDを聞くとき

・ソース（音源）が「CD」になります。

リモコン

・MDを聞くとき

・ソース（音源）が「MD」になります。

リモコン

・1曲目から演奏がスタートし、全部の曲の演奏が終わると、自動停止します。

	操　　作
演奏をとめる	■（停止）ボタンを押します。 曲数と総演奏時間が表示されます。
一時停止する	CD▷/II（またはMD▷/II）ボタンを押します。演奏経過時間表示が点滅します。 もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し（スキップ）	I◀◀ボタン：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ▶▶Iボタン：押すごとに次の曲の頭に移ります。 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が分かります。
曲の早送り・早戻し（サーチ）	・演奏中に押し続けます。 I◀◀ボタン：早戻しができます。 ▶▶Iボタン：早送りができます。 （演奏音が小さく聞こえます）

● MDを取り出すには

MD EJECTボタンを押します。MDが出てきます。ソース（音源）が「MD」のときは、表示窓に「EJECT」が表示されます。

MDの再生モードについて

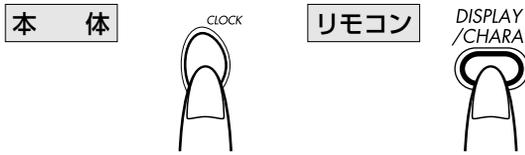
MDは録音したときの録音モードに従って演奏されます。演奏が始まると、表示窓にそのMDの再生モードが表示されます。

- SP ：本機でステレオ録音したMDまたはMD LPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- LP2 ：２倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき
- LP4 ：４倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき

表示窓の表示を変えるには

本体はCLOCKボタン、リモコンはDISPLAY/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

本　体

リモコン

・MD演奏中は

・MDが停止中は（ソースが「MD」のとき）

● ソース（音源）がMD以外のときは

REM.とディスクの録音残量*（REMAIN）➡現在時刻➡選ばれていたソース（音源）　が押すごとに表示されます。

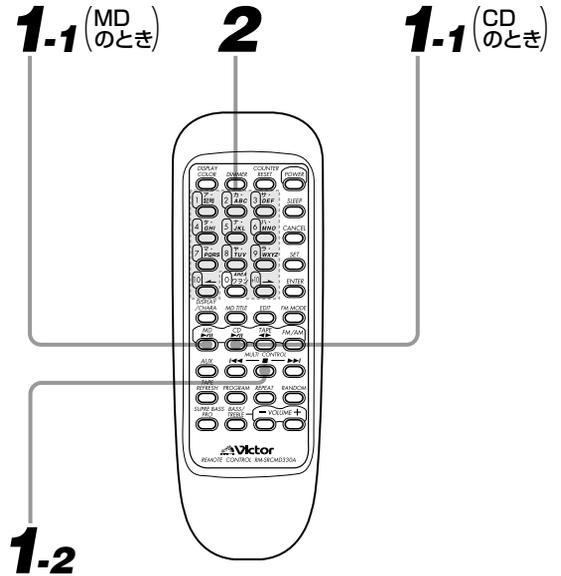
*CLOCKボタンを押したときは、曲名、ディスク名およびディスクの録音残量は表示されません。現在時刻の表示になります。

〈お知らせ〉

- CDやMDが入っているときは、CD▷/IIまたはMD▷/IIボタンを押すだけで演奏が始まります。
- CDやMDの取り扱いについては、48ページをご覧ください。
- MDを使用しないときは、挿入口から取り出しておいてください。
- 電源を「入」にすると、MD部から「カチッ」という音がします。これはMD部に電源を供給するための音で故障ではありません。

ダイレクト演奏

聞きたい曲の番号と同じ数字ボタンを押すと、直接その曲から聞くことができます。これをダイレクト演奏といいます。

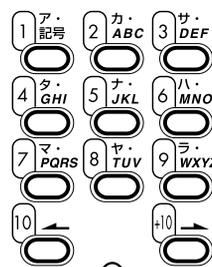
1 CD▶/II➡■（停止）またはMD▶/II➡■（停止）を押す

・CDのとき

・ソース（音源）が「CD」になります。

・MDのとき

・ソース（音源）が「MD」になります。

演奏がとまったら

2 数字ボタンを押す

- **1～10曲目のときは…**
  1～10までの希望するボタンを押す。
- **11曲目以上のとき…**
  +10のボタンのあと1～5のボタンを押す。
  例：15曲目
  +10➡5と押す。
  例：20曲目
  +10➡10と押す。
  例：25曲目
  +10➡+10➡5と押す。

押した曲番号が表示窓に表示され、ダイレクト演奏がスタートします。

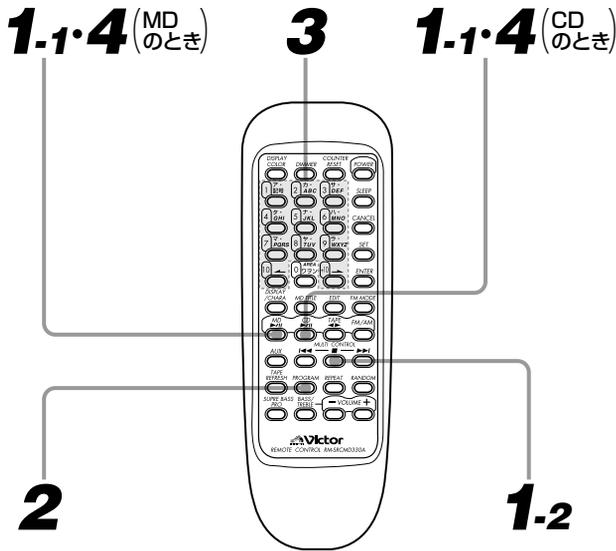
● 演奏中も別の曲に変更できます。

聞きたい曲の数字ボタンを押してください。
押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

聞く

CDを聞く/MDを聞く(つづき) ー番号順に操作します。ー

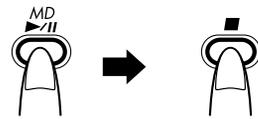
プログラム演奏

CDは最大20曲、MDは最大32曲までプログラム(予約)することができます。これ以上はできません。

〈お知らせ〉

- CDの場合、曲番号21以上の曲もプログラムできますが、演奏時間は表示されません。
- プログラム演奏を利用すると、CDやMDに収録されている曲の中から、好きな曲だけを選んで聞くことができます。なお、MDやテープにプログラムしてシンクロ録音するときは、下記の手順**4**の操作は必要ありません。

1 CD▶/II➡■(停止)またはMD▶/II➡■(停止)を押す

・CDのとき

・MDのとき

・ソース(音源)が「CD」になります。

・ソース(音源)が「MD」になります。

演奏がとまったら

2 PROGRAMを押してプログラム演奏のモードにする

・PRGM(プログラムの略字)が表示されます。

・押すごとに変わります。

プログラム演奏 ↕ 解除(ソース表示)

例：MDのプログラム演奏のとき

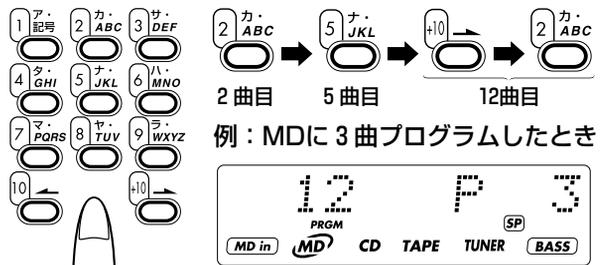
プログラム演奏のモード表示

● **プログラム演奏のモードを取り消すには**

CDまたはMDを取り出すと取り消されます。また電源を切ったときも、取り消されます。プログラムも全部取り消されます。

3 数字ボタンでプログラムする

(例： 2➡5➡12曲目の順に予約するとき)

2曲目　5曲目　12曲目

例：MDに3曲プログラムしたとき

・2秒後にプログラムの合計時間が表示されます。ただし、CDは99:59を超えるとーー:ーー表示になります。MDは149:59を超えるとーーー:ーー表示になります。

4 CD▶/IIまたはMD▶/IIを押す

・CDのとき

・MDのとき

・プログラムした順に演奏されます。演奏が終わると自動停止しますがプログラムは残ります。

● **プログラム内容の確認(停止状態のときのみ)**

▶▶Iボタンを押すごとに、プログラム1からの曲番と順番が表示されます。I◀◀ボタンを押すと逆に表示されます。なお順番の表示から2秒後に、プログラムの合計時間に変わります。

● **プログラムを間違えたときは**

停止状態のときCANCELボタンを押します。押すごとに最後のプログラムから取り消されます。

無作為な順番で聞く(ランダム演奏)

本機が曲順を無作為(ランダム)に選んで演奏します。

1 CD▶/Ⅱ➡■(停止)またはMD▶/Ⅱ➡■(停止)を押す

・CDのとき

・ソース(音源)が「CD」になります。

・MDのとき

・ソース(音源)が「MD」になります。

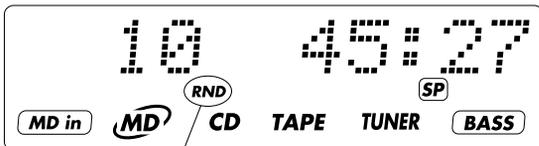
2 RANDOMを押してランダム演奏のモードにする

・RND(ランダムの略字)が表示されます。

・押すごとに変わります。

例:MDのランダム演奏のとき

ランダム演奏表示

3 CD▶/ⅡまたはMD▶/Ⅱを押す

・CDのとき

・MDのとき

・無作為な順番に全曲を演奏すると、自動停止します。

くり返して聞く(リピート演奏)

1曲または全曲をくり返して聞くことができます。

1 CD▶/ⅡまたはMD▶/Ⅱを押す

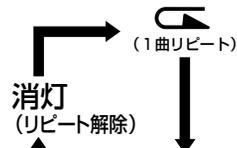
・CDのとき

・ソース(音源)が「CD」になります。

・MDのとき

・ソース(音源)が「MD」になります。

2 REPEATを押してリピート演奏のモードを選ぶ

・押すごとに変わります。

● **リピート演奏をやめるには**

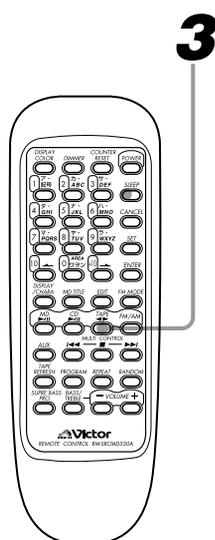
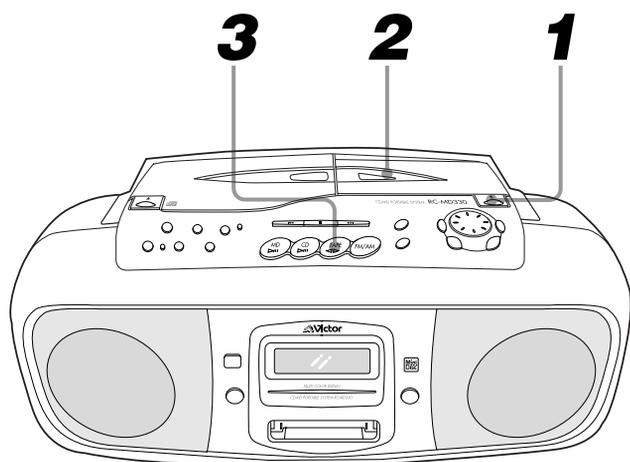
REPEATボタンを押してリピート表示を消灯させ、「リピート解除」にします。

● **ランダム演奏をくり返すには**

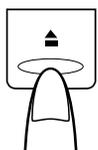
ランダム演奏中にREPEATボタンを押すと、全曲リピートのランダム演奏になります。

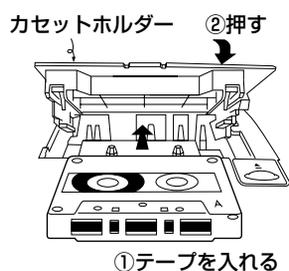
● **ランダム演奏のモードを解除するには**

次のいずれかの操作をします。
- CDまたはMDを取り出す
- 停止中にRANDOMボタンを押す
- 電源を切る

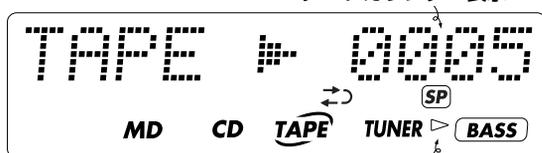
テープを聞く ―番号順に操作します。―

ご注意

- テープ走行中は、テープの取り出しができません。テープをとめてから▲(テープ取出し)ボタンを押してください。

1 ▲(テープ取出し)を押す

・カセットホルダーが開きます。

2 テープを入れ、カセットホルダーを押してしめる

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)またはハイポジションテープ(TYPE Ⅱ)の再生ができます。
- 聞きたい面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。
- カセットホルダーの中央から右側を押してしめてからTAPE◁▷ボタンを押します。

3 TAPE◁▷を押す

- 電源が入り、ソース(音源)が「TAPE」になって順方向(▷)からの再生がスタートします。
- TAPE◁▷ボタンを押すごとに順方向(▷)または逆方向(◁)が選べます。
  表示窓に4ケタのテープカウンターが表示されます。

● 聞きたいテープが入っているときは

直接TAPE◁▷ボタンを押します。電源が入り、テープの再生がスタートします。

リバースモードの選択(本体のみ)

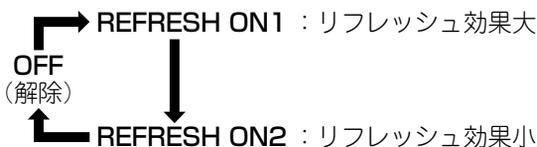
REV. MODEボタンを押して選びます。

- ⇄ …片道の再生
- ⇄⊃…往復の再生
- ⊂⇄⊃…連続再生

選んだリバースモードは、表示窓に表示されます。

● ⇄または⇄⊃で再生した場合、テープが巻き終わると自動的に停止します。

● テープ再生の音をよみがえらせるには(テープリフレッシュ機能)

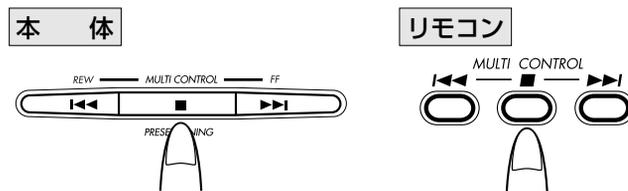
TAPE REFRESHボタンを押すと、テープリフレッシュ機能により、メリハリのなくなった音をクリアによみがえらせます。またMDに録音するときも使えます。

〈お知らせ〉

- メタルテープ(TYPEⅣ)は、お勧めできません。再生すると音質が異なります。
- テープの取り扱いについては、49ページをご覧ください。
- テープリフレッシュ機能は、ステレオ録音したテープに働きます。

● 他のテープ操作

	順方向(▷)のとき	逆方向(◁)のとき
巻戻し(REW)		
早送り(FF)		

● ソース(音源)が「TAPE」のとき操作します。

	操　　作
テープを途中でとめる	■(停止)ボタンを押します。テープが巻き終わったときは、自動停止します。

ディスプレイカラーを変えるには

表示窓の背面色をお好みに変えることができます。本体の色によって2種類のカラー配列があり、部屋の雰囲気などによって8色の中から選んでください。

ブルータイプ ：RC-MD330A(ブルー)
RC-MD330P(ピンク)
RC-MD330S(シルバー)のとき

本　体

DISPLAY COLOR

4秒以内に

MULTI JOG VOLUME

・回すごとに選べます。

リモコン

DISPLAY COLOR

・押すごとに順方向に選べます。(逆方向には選べません)

BLUE 1 → BLUE 2 → LIGHT BLUE → PERPLE 1 → PERPLE 2 → PINK 1 → PINK 2 → RED → PINK 2 → PINK 1 → PERPLE 2 → PERPLE 1 → LIGHT BLUE → BLUE 2 → BLUE 1

・MULTI JOGを左方向に回したとき

グリーンタイプ ：RC-MD330W(ホワイト)
RC-MD330D(オレンジ)のとき

本　体

DISPLAY COLOR

4秒以内に

MULTI JOG VOLUME

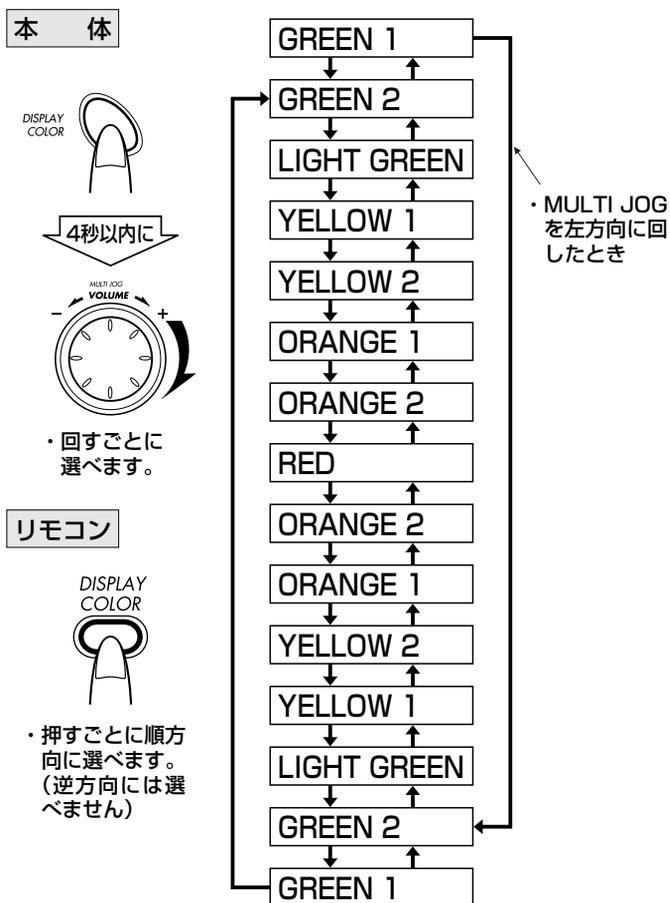
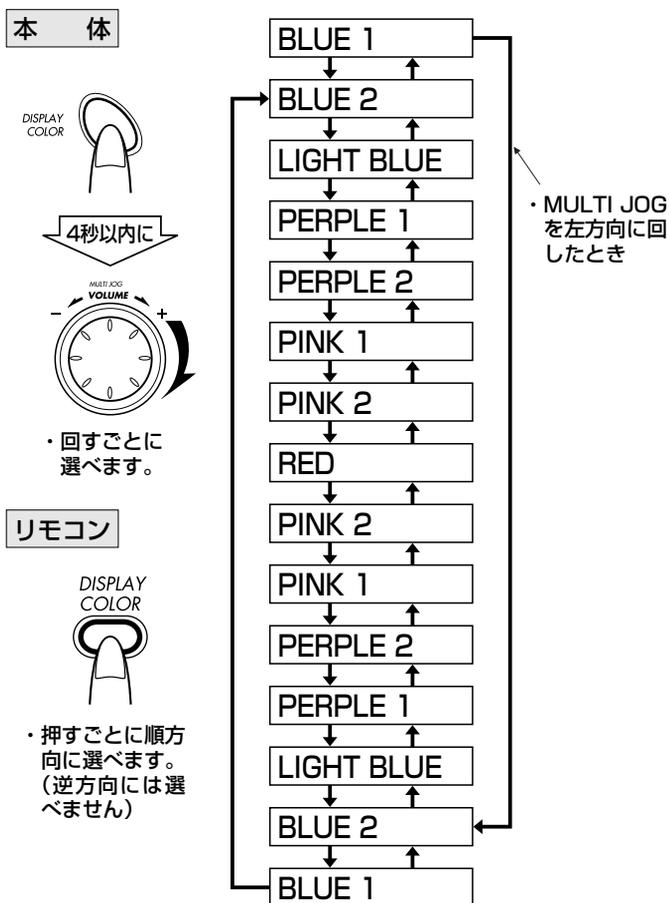
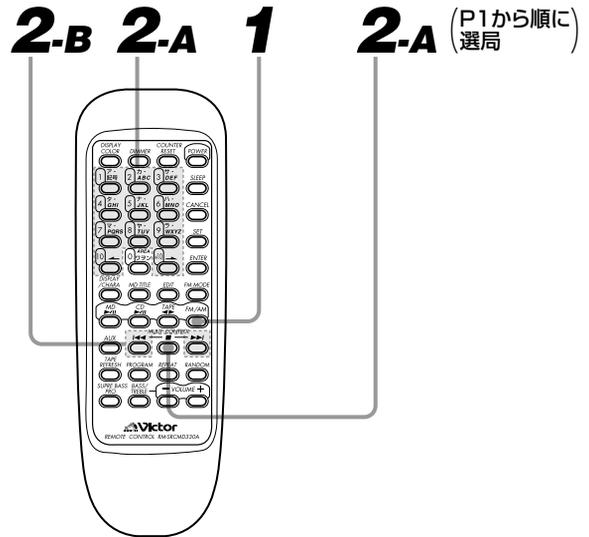
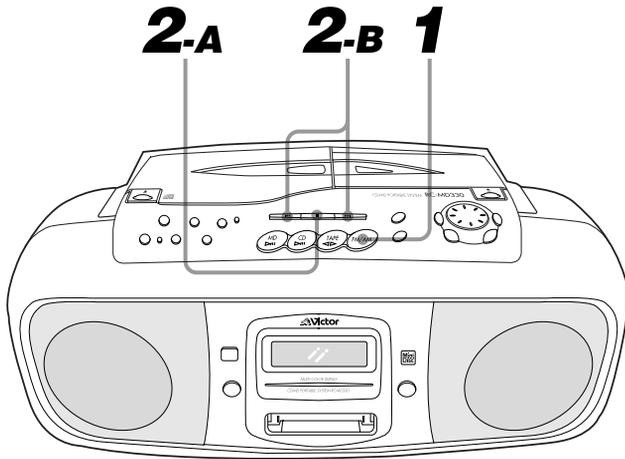
・回すごとに選べます。

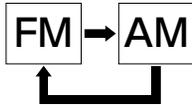
リモコン

DISPLAY COLOR

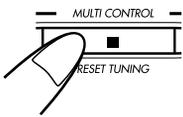
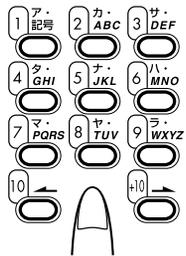
・押すごとに順方向に選べます。(逆方向には選べません)

GREEN 1 → GREEN 2 → LIGHT GREEN → YELLOW 1 → YELLOW 2 → ORANGE 1 → ORANGE 2 → RED → ORANGE 2 → ORANGE 1 → YELLOW 2 → YELLOW 1 → LIGHT GREEN → GREEN 2 → GREEN 1

・MULTI JOGを左方向に回したとき

放送を聞く —番号順に操作します。—

1 FM/AMを押す

・電源が入り、押すごとにバンドが選べます。
・ソース(音源)は「TUNER」になります。

2 選局する

2-A 放送局が記憶してあるとき（プリセット選局）

本　体

・PRESET TUNINGボタンを押します。

の順に選局できます。
放送局を受信すると、放送局名が表示窓に表示されます。

リモコン

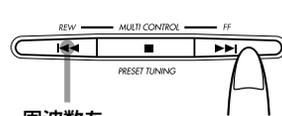
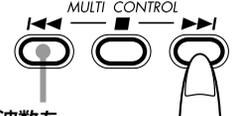
・数字ボタンを押します。

● 1～10局目は
1～10
のいずれかを押します。

● 11～15局目は
+10 のあと 1 ～ 5 のいずれかを押します。

例：15局目は
+10 ➡ 5 と押す。

・または■ボタンを押してP1から順に選局します。

2-B ▶▶Iまたは I◀◀で選局する

・**オート選局**：▶▶IまたはI◀◀ボタンを押し続け、周波数表示が変わりだしたら指を離します。放送局を受信すると、自動で止まります。

・**マニュアル選局**：▶▶IまたはI◀◀ボタンを「ポン･ポン」と押します。**FM***は0.1MHzずつ、**AM**は９kHzずつ変わります。

＊テレビの１～３チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声が50kHz間隔のためで、故障ではありません。

● FM放送を聞くときは

通常は**FM**ステレオ放送を受信すると、表示窓に**“ST”**が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは、リモコンの**FM MODE**ボタンを押して**“MONO”**表示に切換えてください。

〈お知らせ〉

● **AM**放送は、モノラル受信です。**AM**放送を受信するときは、必ず**AM**ループアンテナ（付属品）を接続してください。
● ロッドアンテナや**AM**ループアンテナではうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください。

放送局を選んで記憶させる（リモコンのみ）

エリアガイド機能を使って記憶させたあと、最大15局までバンドごとに放送局が追加できます。

1 FM/AMを押す

リモコン

・電源が入り、押すごとにバンドが選べます。
・ソース（音源）は「TUNER」になります。

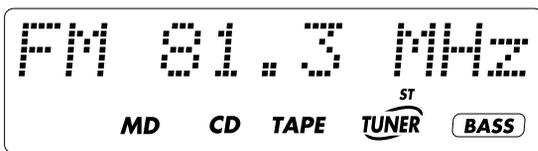
2 ▶▶Iまたは I◀◀で選局する

リモコン

・マニュアル選局または、オート選局で記憶したい放送局を選びます。

例：81.3MHzを受信したとき

3 SETを押す

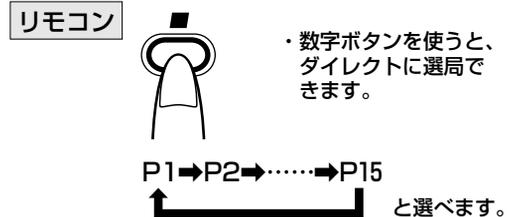
リモコン

例：プリセット番号15のとき

エリアガイド機能で記憶済みのときは、最後の番号の次の番号になります

4 ■で記憶したいプリセット番号を選ぶ

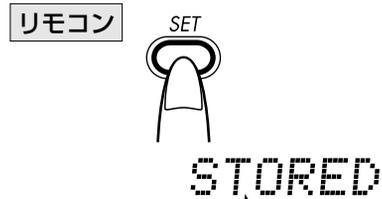
リモコン

・数字ボタンを使うと、ダイレクトに選局できます。

と選べます。

例：12局目に記憶するとき

・すでに記憶されている番号を選ぶと、その番号を今選んだ放送局に変更することができます。

5 SETを押す

リモコン

・追加した放送局が記憶されます。２秒後にソース（音源）表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 電源コードを抜いた状態（または停電）が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。
- エリアガイド機能を使って記憶させると、追加した放送局は取り消されます。再度追加してください。

録音する前に

CD/MDの録音あれこれ

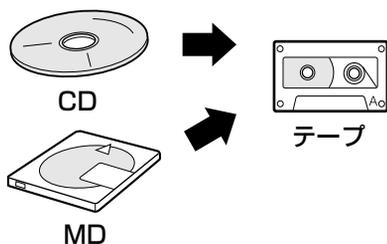
CDのシンクロ録音

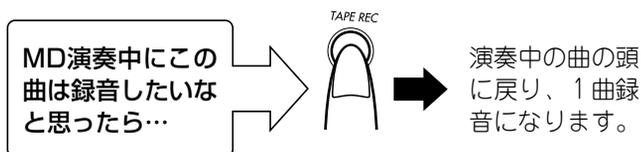
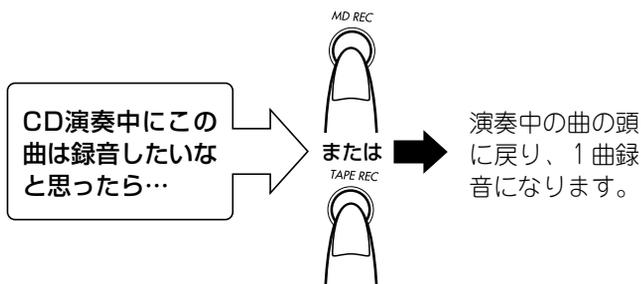
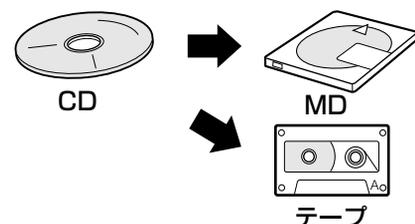
1枚のCDをそのままMD(またはテープ)にワンタッチで録音できます。あらかじめプログラムしておくと、オリジナルのMD(またはテープ)が作れます。テープの場合、MDのシンクロ録音もできます。

MDへのシンクロ録音(定速および倍速録音)

・デジタル信号のまま録音されます。

倍速録音は、CDを演奏時間の半分の時間で録音できます。ただし、倍速録音中は、CDの演奏音を聞くことはできません。

テープへのシンクロ録音

1曲録音

録音したい曲を演奏中にMD REC(またはTAPE REC)ボタンを押すと、1曲録音ができます。
CD➡MDまたはテープへ、MD➡テープへ演奏中の曲の1曲録音ができます。

MD/テープへの同時録音

MDのステレオ長時間録音について

今までMDの長時間録音は、モノラル2倍長録音でしたが、本機はステレオのまま2倍長時間録音または4倍長時間録音ができます。録音するソース(音源)や、録音方式に関係なく設定できます。また1枚のMDに異なる録音モード(SP、LP2またはLP4)の曲を混ぜて録音することもできます。

MD REC TIME

・SP ：標準のステレオ録音
(MD80で最大80分の録音)
・LP2 ：2倍長時間録音(ステレオ)
(MD80で最大160分の録音)
・LP4 ：4倍長時間録音(ステレオ)
(MD80で最大320分の録音)
ラジオ放送の長時間録音などに便利

〈お知らせ〉

- 本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音したMDの曲は、MDLPに対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。
表示窓にLP：が表示され無音状態になります。

放送、テープ再生、他の機器の音の録音

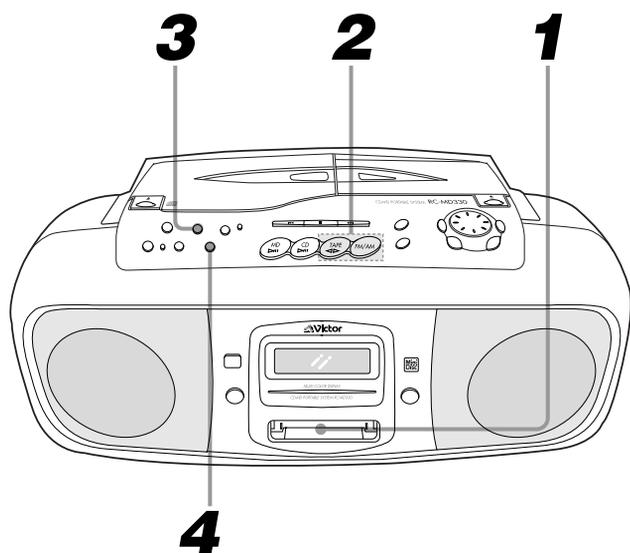
- 録音したいソース(音源)を選びMD RECまたはTAPE RECボタンを押します。

〈お知らせ〉

- **シンクロ録音とは**
録音開始に合わせてCDまたはMDの演奏が一緒にスタートすることを、シンクロ録音といいます。演奏が終わると、録音も自動停止します。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音について知っておいてほしいこと

- **途中まで録音してあるMDの場合、その終わりを自動的に探して録音されます。**
新たに録音し直すときは、ALL ERASE(➡40ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- **MDには最大254曲まで録音できます。**
- **MDは通常ステレオで録音されます。**
- **録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。**
- **録音レベルの調節は必要ありません。**
ALC録音方式のため自動でレベルが設定されます。
- **録音中または編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。**
特に「UTOCwriting」表示中は、注意してください。MDが使えなくなる原因となります。
- **再生専用のMDには録音・編集はできません。**
- **テープの録音は、ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)専用です。**
ハイポジションテープ(TYPE Ⅱ)やメタルテープ(TYPE Ⅳ)には対応しておりません。

テープ再生/放送をMDに録音する　ー番号順に操作します。ー

● テープ再生/放送➡MDに録音

1 録音用のMDを入れる

・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

2 録音ソース(音源)を選ぶ

例：放送を録音するとき

・放　　送：FM/AMボタンを押して録音したい放送局を選ぶ。
・テープ再生：テープを入れ、TAPE◁▷➡■(停止)ボタンを押す。

3 MD REC TIMEで録音モードを選ぶ

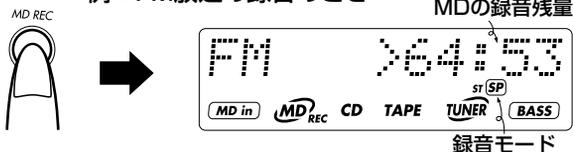
・SP　：標準のステレオ録音(MD80で最大80分の録音)
・LP2　：2倍長時間録音(ステレオ)
・LP4　：4倍長時間録音(ステレオ)

・お買い上げ時はSP(標準のステレオ録音)になっています。(モノラルの2倍長録音はできません)

〈お知らせ〉

● MDを入れたあと10秒間は、MD RECボタンを押しても録音はスタートしません。これは、録音の準備をしているためです。
● 録音モードが長時間(SP➡LP2➡LP4)になるにしたがって音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードのSPをお勧めします。

4 MD RECを押す➡録音スタート

例：FM放送の録音のとき

・テープ再生の場合、録音スタートに合わせてテープ再生もスタートします。
・表示窓にMD RECが表示されます。
・放送や他の機器の音の録音中にMD RECボタンを押すと、一時停止ができます。このときREC表示が点滅し、トラックマークがつけられます。もう一度MD RECボタンを押すと録音が再開します。

● MDの録音が終わると

「UTOCwriting」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。
テープ再生が終ったときも自動停止します。

● 録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押します。
「UTOCwriting」表示のあと、録音が停止します。

● 曲番号(トラックマーク)をつけるには

放送を録音中に、曲の変わり目でリモコンのSETボタンを押すと曲番号(トラックマーク)をつけることができます。
このとき表示窓は、録音残量の表示のままですがトラックマークは録音が終わると記録されます。録音が終わったら編集機能(➡㉝ページ参照)で整理しておくことをお勧めします。

● テープ再生や他の機器の音(AUX)を録音の場合…

無音部分が3秒以上続くと、曲の変わり目として区切られ、トラックマークがつき曲番号も変わります。
ただし曲間が短かったり雑音が多いと区切られないことがあります。

● テープリフレッシュ機能を使ってMDに録音するには

左記の手順2で録音ソース(音源)にテープ再生を選んだあとTAPE REFRESHボタンを押します。

本　体

リモコン

・押すごとに

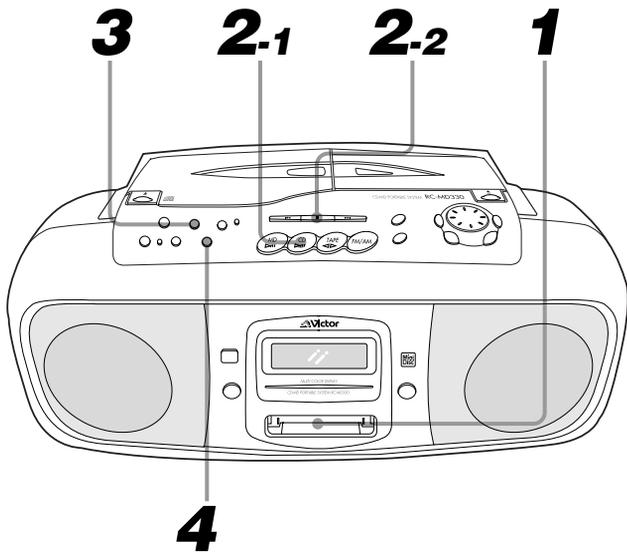
REFRESH ON1 ➡ REFRESH ON2 ➡ OFF(解除) ➡ REFRESH ON1 選べます。

「ON1」または「ON2」を選ぶと、テープリフレッシュ機能が効いた音で録音されます。

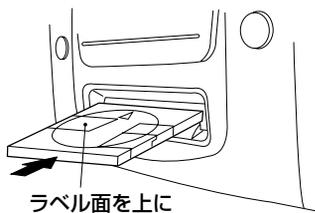
● エリアガイド機能で放送局を記憶した場合

エリアガイド機能(➡⑮ページ参照)で放送局が記憶してあると、録音中に放送局名がTRACK TITLEに自動で記録されます。

録音する

CDをMDにシンクロ録音する ー番号順に操作します。ー

● MDの録音スタートに同期してCDの演奏も始まります。

1 録音用のMDを入れる

・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

2 CDを入れ、CD▷/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

● 好きな曲だけ録音するには…
①リモコンのPROGRAMボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
➡詳しくは⑳ページ参照

3 MD REC TIMEで録音モードを選ぶ

・SP ：標準のステレオ録音(MD80で最大80分の録音)
・LP2 ：２倍長時間録音(ステレオ)
・LP4 ：４倍長時間録音(ステレオ)

・お買い上げ時はSP(標準のステレオ録音)になっています。(モノラルの２倍長録音はできません)

4 MD RECを押す➡録音スタート

・CDの録音は、デジタル信号のまま録音されます。
曲の変わり目に自動的にトラックマークがつけられ、曲番号も変わります。
・表示窓にMD RECが表示されます。

● MDの録音が終わると

「UTOCwriting」表示のあと自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。
CDの演奏が終ったときも自動停止します。

● 録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押します。
「UTOCwriting」表示のあと、録音が停止します。

CDの１曲だけ録音するには(１曲録音)

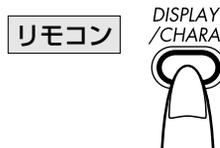
1 リモコンの数字ボタンで録音したい曲を演奏する

2 本体のMD RECを押す

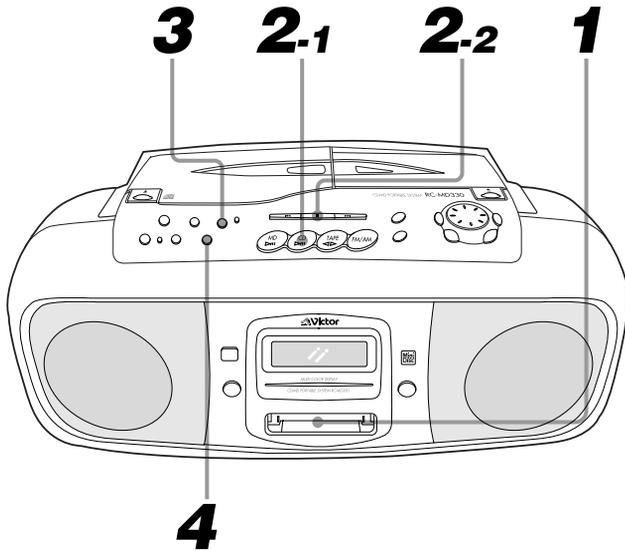
・演奏中の曲の頭に戻り、１曲録音になります。
CDの演奏が終ると、録音も自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。

CDを録音中に表示窓の表示を変えるには

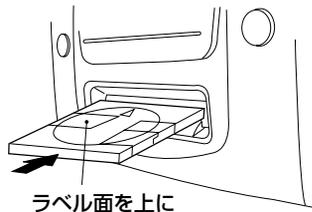
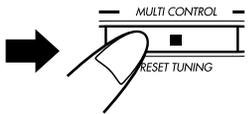
リモコンのDISPLAY/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように変わります。

リモコン

〈お知らせ〉

● 録音モード(SP、LP2またはLP4)の設定によってMDの録音残量表示も変わります。
● 途中まで録音してあるMDの場合、その終わりを自動的に探します。
新たに録音し直すときは、ALL ERASE(➡㊵ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
● 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎなおしてください。

CDをMDに倍速シンクロ録音する —番号順に操作します。—

● MDの録音スタートに同期してCDの演奏も始まります。ただし演奏音は聞くことができません。

1 録音用のMDを入れる

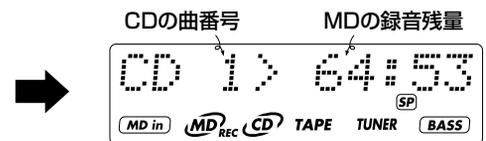
・ラベル面を上にし、矢印の方向(⇨または▷)から差し込みます。
・未使用のMDの場合、ソース(音源)が「MD」のときに限り「BLANK DISC」が表示されます。

2 CDを入れ、CD▷/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

● 好きな曲だけ録音するには…
①リモコンのPROGRAMボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
・同じ曲はプログラムしないでください。
➡詳しくは⑳ページ参照

3 CD-MD REC SPEEDを押す

・倍速録音のモードになります。

・MD REC TIMEボタンを押して録音モード(SP、LP2またはLP4)を選ぶこともできます。

4 MD RECを押す➡録音スタート

・CDの録音は、デジタル信号のまま録音されます。
曲の変わり目に自動的にトラックマークがつけられ、曲番号も変わります。
・表示窓にMD RECが表示されます。

● MDの録音が終わると

「UTOCwriting」表示のあと自動停止します。このとき「ピー・ピー・ピー」音で録音の終わりを知らせます。
CDの演奏が終わったときも自動停止します。
CD-MD REC SPEEDボタンを押して倍速録音のモードを解除しておきます。

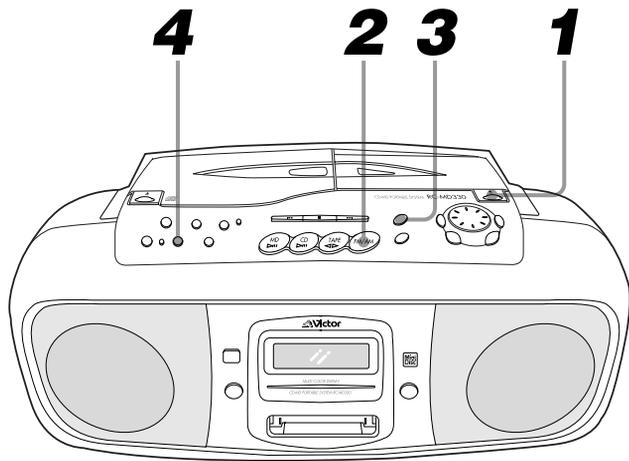
● 録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押します。
「UTOCwriting」表示のあと、録音が停止します。

〈お知らせ〉

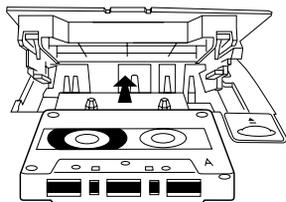
● 倍速録音が終了したCDの曲は、その曲の録音スタートから74分を経過しないと、再び録音することはできません。
万一、録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示され、「ピッピッピ」音のあと録音が解除されます。
● 倍速録音中は、CDの演奏音を聞くことはできません。
音量調節や音質調節の操作をすると、「CAN NOT LISTEN(リスニング)」とスクロール表示されます。
● 倍速録音を始めてから74分以内に電源コードをコンセントから抜いてしまうと、再度録音が可能になるまでの内蔵タイマーの動作が一時停止します。74分以上経過するまで電源コードは抜かないでください。

録音する

放送をテープに録音する ー番号順に操作します。ー

〈お知らせ〉

- 録音済みのテープの音を消すには…
  TAPE◁|▷ボタンを押し、ソース（音源）を「TAPE」にしてから録音すると、録音した音を消すことができます。無音のテープができます。
- 逆方向（◁）で録音が終わったときは、テープを取り出すとテープの走行方向は自動で順方向（▷）に戻ります。新しいテープを入れたときA面からの録音がしやすくなっています。
- リバースモードを⊂⇄⊃にして録音しても、リバース方向の巻き終わりでテープは自動停止します。録音中は⇄⊃が表示窓に表示されます。

- 放送➡テープに録音する

1 録音用のテープを入れる
（ノーマルテープ：TYPE I を使います）

- A面を上にして入れます。（B面だけ録音したいときは、B面を上にして入れます）
- リーダーテープ*の部分は先に送っておきます。

2 FM/AMを押す

録音したい放送局を選びます。➡24ページ参照

3 REV. MODEでリバースモードを選ぶ

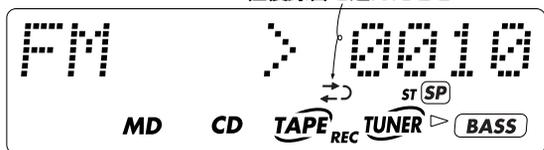
- ⇄⊃：A面からB面にまたがった録音
- ⇄　：片道の録音

4 TAPE RECを押す➡録音スタート

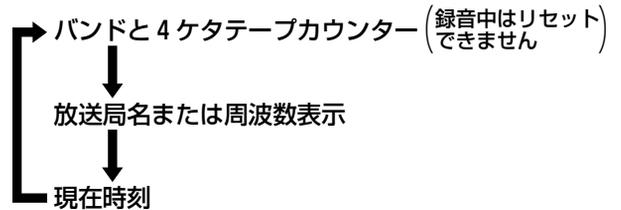
- 上の面（順方向）から録音がスタートします。
- 録音中はTAPE RECが表示されます。

往復録音を選んだとき

FM ▷ 0010
⇄⊃ ST SP
MD CD TAPE REC TUNER ▷ BASS

- 録音を途中でやめるには

■（停止）ボタンを押します。

- 録音中の放送局名などを知るには

リモコンのDISPLAY/CHARAボタンを使います。押すごとに次のように選べます。

- テープを巻き戻すには

1. TAPE◁|▷を押す
   ・ソース（音源）を「TAPE」にします。
2. ■（停止）を押す
3. I◀◀（巻戻し）を押す
   ・テープが巻き終わると自動停止します。

- テープカウンターを「００００」にするには

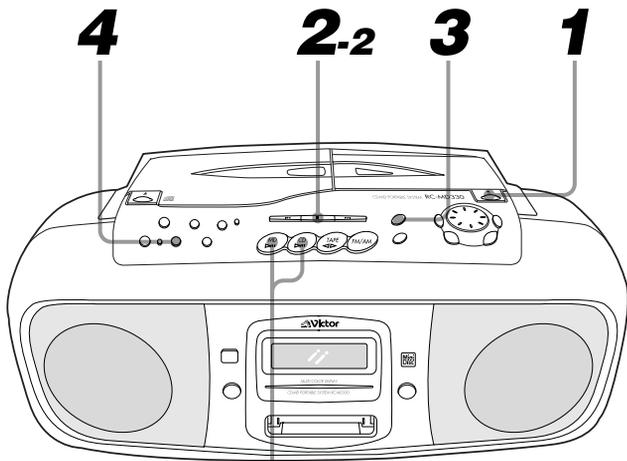
ソース（音源）が「TAPE」のときリモコンのCOUNTER RESETボタンを押します。
テープカウンターは、テープの種類などにより多少ズレることがあります。おおよその目安としてお使いください。

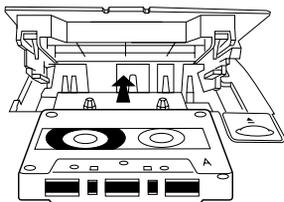
- AM放送録音中に「ピー」というビート音が出るときは

AMループアンテナを「ピー」というビート音が、最も小さくなる所に移動してください。

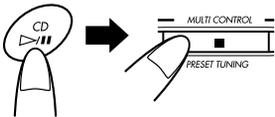
*リーダーテープにご注意

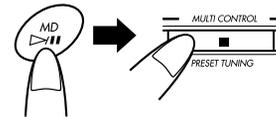
カセットテープの始めには、リーダーテープ（録音できない部分）があります。録音するときは、あらかじめ再生状態でリーダーテープを巻き取っておいてください。

CD/MDをテープにシンクロ録音する ー番号順に操作します。ー

● テープの録音スタートに同期してCDまたはMDの演奏も始まります。

1 録音用のテープを入れる
（ノーマルテープ：TYPE I を使います）

・A面を上にして入れます。（B面だけ録音したいときは、B面を上にして入れます）
・リーダーテープの部分は先に送っておきます。

2 CDまたはMDを入れ、ソース（音源）を「CD」または「MD」にする

・CDのとき

・ソース（音源）が「CD」になります。

・MDのとき

・ソース（音源）が「MD」になります。

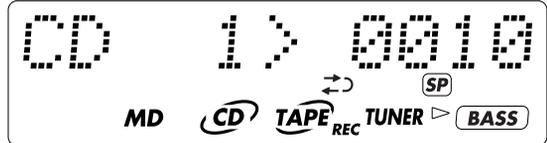
● 好きな曲だけ録音するには…
①リモコンのPROGRAMボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
➡詳しくは⑳ページ参照

3 REV. MODEでリバースモードを選ぶ

・⇄⊃：A面からB面にまたがった録音
・⇄　：片道の録音

4 TAPE RECを押す➡録音スタート

・上の面（順方向）から録音がスタートします。
・録音中はTAPE RECが表示されます。曲間に4秒のあき（ブランク）を作って録音されます。

例：CDのシンクロ録音のとき

● 録音を途中でやめるには
■（停止）ボタンを押します。
CD（またはMD）の演奏が終わると、録音も自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。

● CDまたはMDのコンプリート録音機能（シンクロ録音時のみ）
曲の途中で逆方向に反転すると、うら面（B面）には、
・順方向最後の曲の録音が12秒以下のときは前の曲の頭から
・順方向最後の曲を12秒以上録音していたときはその曲の頭から
録音し直されます。

CD/MDの1曲だけ録音するには（1曲録音）

1 リモコンの数字ボタンで録音したい曲を演奏する

2 本体のTAPE RECを押す
・演奏中の曲の頭に戻り、1曲録音になります。CD（またはMD）の演奏が終わると、録音も自動停止します。

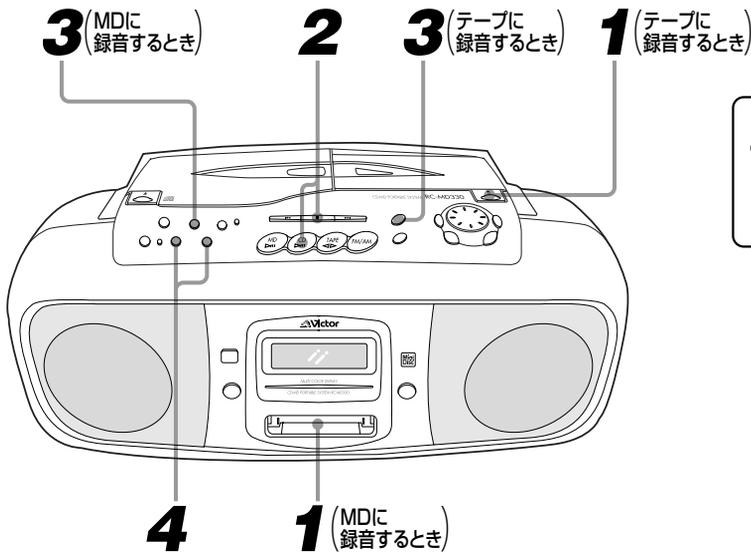
曲間にあき（ブランク）を作らずに録音するには

CDまたはMDを一時停止状態にしてから録音すると、収録されたままの内容で録音できます。

1 CD▷/II（またはMD▷/II）を2回押す
・一時停止になります。

2 TAPE RECを押す
・一時停止した曲の頭から録音されます。
・曲の始まりや終わりの無音部分は、そのまま録音されます。

CDをMDとテープに同時録音する ー番号順に操作します。ー

● CDをMDとテープに同時録音することができます。

ご注意

● 倍速録音のモード(HIGHのランプ点灯)になっていると、録音がスタートしません。CD-MD REC SPEEDボタンを押して解除してください。

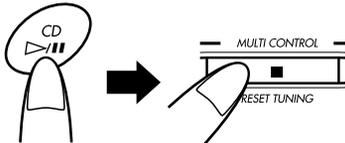
1 録音用のMDとテープを入れる

MD

・ラベル面を上にし、⇨または▷表示に従って差し込みます。

テープ

・A面を上にして入れます。
(B面だけ録音したいときは、B面を上にして入れます)

2 CDを入れ、CD▷/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「CD」になります。

● 好きな曲だけ録音するには…

①リモコンのPROGRAMボタンを押してプログラム演奏のモードにする
②数字ボタンを押してプログラムする
➡詳しくは⑳ページ参照

3 MD REC TIMEおよびREV. MODEで録音に必要な操作をする

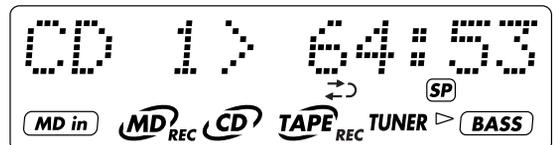
MD

・SP：標準のステレオ録音(MD80で最大80分の録音)
・LP2：2倍長時間録音(ステレオ)
・LP4：4倍長時間録音(ステレオ)

テープ

・⇄：A面からB面にまたがった録音
・⇄：片道の録音

4 TAPE RECを押したままMD RECを一緒に押す➡録音スタート

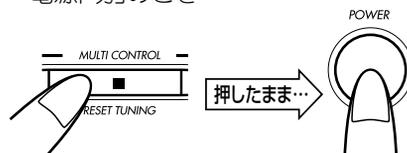
・テープは上の面(順方向)から録音がスタートします。
・録音中はCDとTAPE RECおよびMD RECが表示されます。

● **録音を途中でやめるには**

■(停止)ボタンを押します。
CDの演奏が終わると、録音も自動停止します。このとき「ピー」音で録音の終わりを知らせます。

● **テープを巻き戻すには**

1. TAPE◁▷を押す
 ・ソース(音源)を「TAPE」にします。
2. ■(停止)を押す
3. I◀◀(巻戻し)を押す
 ・テープが巻き終わると自動停止します。

● **録音終了の「ピー」音を鳴らしたくないときは**

電源「切」のとき

・電源が入り、「BEEP OFF」が表示されると録音終了の「ピー」音は出なくなります。

元に戻すときは、もう一度同じ操作をします。
「BEEP ON」が表示されます。

MDの編集について

MDは録音·再生の他に編集という機能を持っています。録音した曲を好きなところでつないだり、分けたり、消すことができます。またMDや曲に名前をつけることもできます。

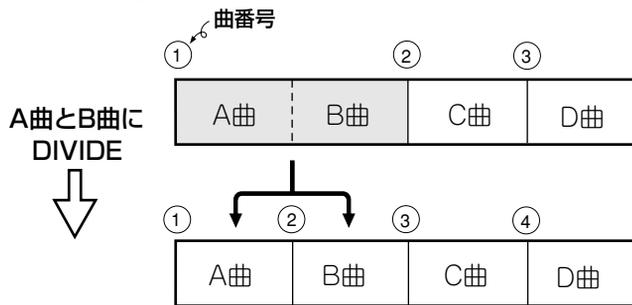
MDや曲に名前をつける(TITLE)➡34ページ参照

最大61文字までディスク名や曲名をつけることができます。文字の種類は、「カタカナ、英大文字/記号、英小文字/記号、数字」があります。

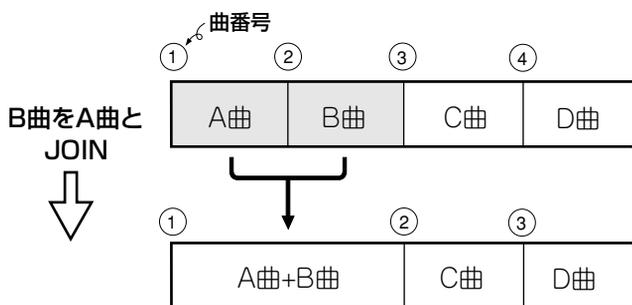
〈お知らせ〉

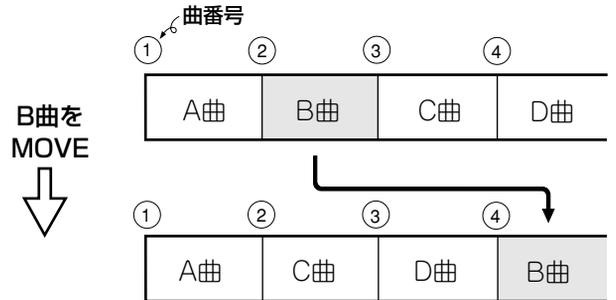
- [文字情報/英　語]のマークがついたMDソフトは、アルバム名や曲名などの文字情報が書き込まれてあり、表示することができます。
- 編集の操作は、MDが誤消去防止状態になっているとできません。誤消去防止つまみを閉じた状態に戻してください。

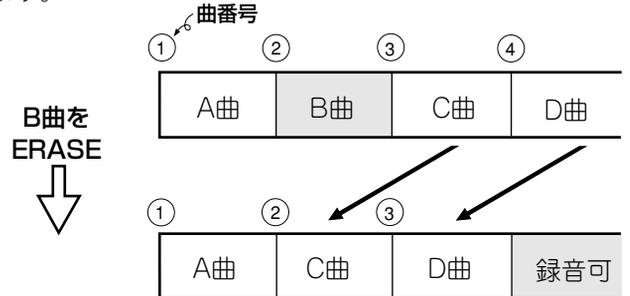
曲を分ける(DIVIDE)➡36ページ参照

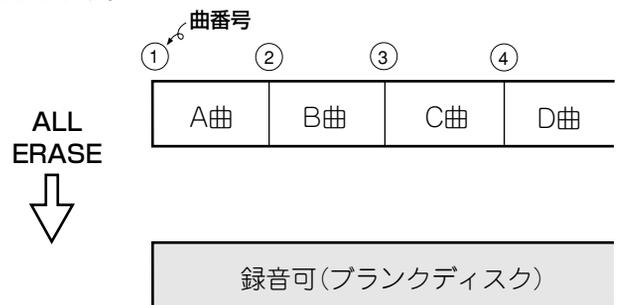
曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマーク*を追加し、曲を分けます。

*トラックマークとは…
曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号です。

曲をつなげる(JOIN)➡37ページ参照

トラックマークを削除し、1つ前の曲と1つにまとめます。

曲を移動する(MOVE)➡38ページ参照

好きな順番に曲を移動することができます。

1曲を消す(ERASE)➡39ページ参照

不要な曲やナレーションなどを素早く消すことができます。消した部分は、無音部分で残らず後ろの曲が前につめられます。

全部の曲を消す(ALL ERASE)➡40ページ参照

全部の曲を一度に消すことができます。ブランクディスクになります。

TITLEの操作を終了するときは

TITLEの操作を終了するときは、次のいずれかの操作をします。

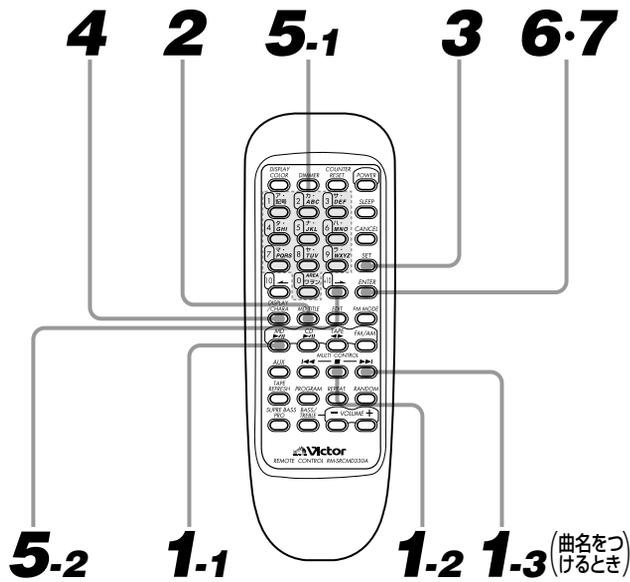
- MD EJECTボタンを押してMDを取り出す
- POWERボタンを押して電源を切る

「UTOCwriting」が表示され、編集内容がMDに記録されます。

ご注意

- 「UTOCwriting」が表示される前に、電源コードをコンセントから抜くと編集した内容は、MDに記録されません。

編集する

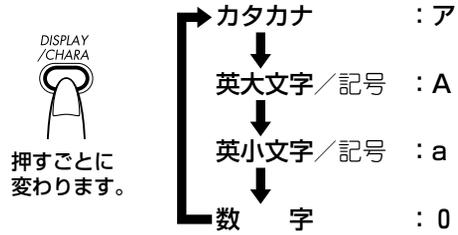
MDにディスク名や曲名をつける(TITLE)

●ディスク名をつけるには

1 編集したいMDを入れ、MD▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。

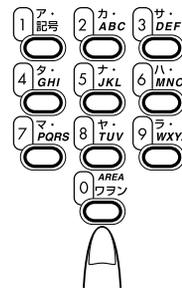
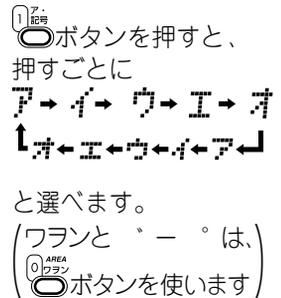
2 MD TITLEを押して編集モードの「DISC TITLE」を選ぶ

3 SETを押す

4 DISPALY/CHARAで文字の種類を選ぶ

詳しくは➡35ページ「文字配列表」参照

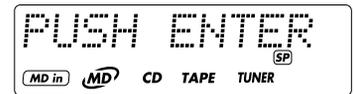
5 名前を入れる(最大61文字まで)

①数字ボタンで文字を選ぶ
(例:カタカナのとき)

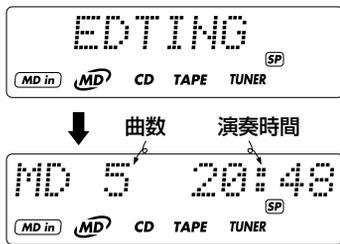
・ア行の文字の入力は…
1ボタンを押すと、押すごとに
ア→イ→ウ→エ→オ
↑オ←エ←ウ←イ←ア↵
と選べます。
(ワヲンと ゛ ー ゜ は、0ボタンを使います)

②+10ボタンを押して確定する

・空白(スペース)を入れるときも+10ボタンを押します。

・別の数字ボタンを押したときも確定できます。
・間違えたときはCANCELボタンで取り消します。
・手順4と5のくり返しで好きな名前を入力します。
・途中の文字を消したいときは10ボタンでカーソルを文字に合わせCANCELボタンを押します。そのあと文字を選び+10ボタンを押すと、文字の修正ができます。

6 ENTERを押す

(TITLEを中止したいときは、CANCELボタンを押します)

35 ページへ続く

7 ENTERを押す

・曲数と演奏時間が表示されます。
名前がメモリーICに記録されます。

8 本体のMD EJECTを押す ➡編集モード終了

MD EJECT

・「UTOCwriting」表示後、MDが出てきます。
・メモリーICの内容がMDに記録されます。

● 手順**8**のときPOWERボタンを押して電源を切っても編集モードを終了することができます

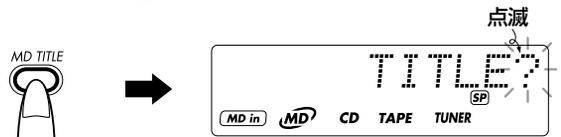
〈お知らせ〉

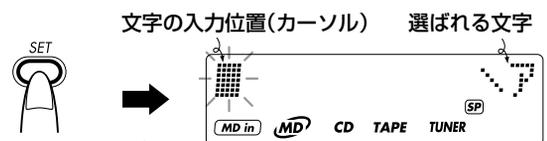
● **入力済みの文字を消すには…**
タイトル入力済みの文字を消すときは、34ページの手順**3**のとき、そのタイトルが点滅表示されます。このときCANCELボタンを押して文字を消します。
そのあと文字を入力し直すか、ENTERボタンを2回押してください。

● 曲名をつけるには

1 編集したいMDを入れ、MD►/II➡■(停止)のあと►►Iで曲を選ぶ

2 MD TITLEを2回押して編集モードの「TITLE」を選ぶ

例：1曲目を選んだとき

(演奏中のときは1回押す)

3 SETを2回押す

(演奏中のときは1回押す)

● 以下34〜35ページの**4**〜**7**と同じ操作で曲名をつけます。曲名をつけ終ったらMDを取り出します。

● 文字配列表

ボタン	数字	カ　ナ	英大	英小
1 ア・記号	1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*
2 カ・ABC	2	カキクケコ	ABC	abc
3 サ・DEF	3	サシスセソ	DEF	def
4 タ・GHI	4	タチツテトッ	GHI	ghi
5 ナ・JKL	5	ナニヌネノ	JKL	jkl
6 ハ・MNO	6	ハヒフヘホ	MNO	mno
7 マ・PQRS	7	マミムメモ	PQRS	pqrs
8 ヤ・TUV	8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv
9 ラ・WXYZ	9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz
0 AREA ワヲン	0	ワヲン゛ー゜		

＊記号で表示する内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	＋
,	ー	.	／	:	;	<	=	>	?	@	_	`

CDを録音中に曲名をつけるには

録音している曲を演奏中に…

1 MD TITLEを押す

・表示窓にTITLEが表示されます。

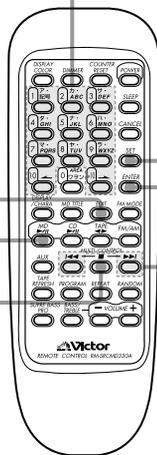
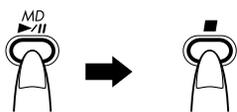
2 SETを押す

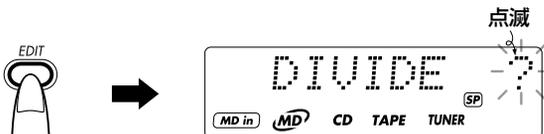
● 以下34〜35ページの**4**〜**7**と同じ操作で曲名をつけます。必ず曲の演奏中に入力し終えてください。

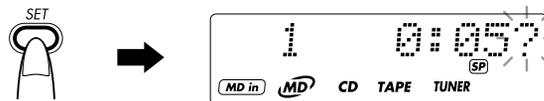
《お知らせ》

● ゜や゛は、半濁音や濁音になる行の文字以外には入れることができません。

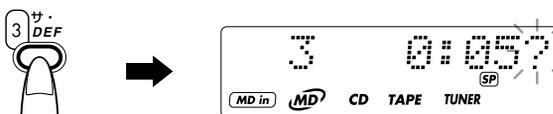
曲を分ける(DIVIDE) ー番号順に操作します。ー

(ディバイド)

1 編集したいMDを入れ、MD▶/II➡■(停止)を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。

2 EDITを押して編集モードの「DIVIDE」を選ぶ

3 SETを押す

・1曲目がくり返し演奏になります。

4 数字ボタンで分けたい曲を選ぶ

例: 3曲目のとき

3 0:05?

・選んだ曲(3曲目)がくり返し演奏になります。

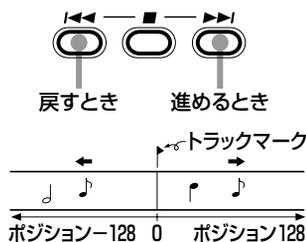
5 分けたいところでSETを押す

・その場所から4秒後までがくり返し演奏されます。

●曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、▶▶Iまたは I◀◀で分ける位置が前後に微調節できます。

戻すとき　進めるとき

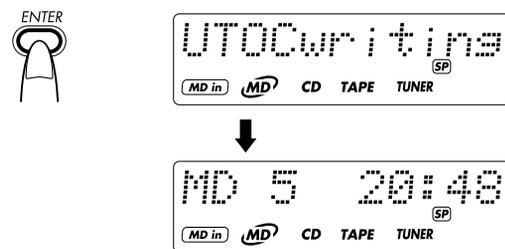
トラックマーク

ポジションー128　0　ポジション128

・ポジションー128〜128(前後約8秒)の範囲でトラックマークが移動できます。移動した所から4秒後がくり返し演奏されます。

6 SETを押す

PUSH ENTER

(DIVIDEを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

7 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、曲番号が1つ増えます。

●編集操作を続けるときは、EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

●手順**2**のときEDITボタンを押すと、押すごとに

DIVIDE ➡ JOIN ➡ MOVE ➡ ERASE ➡ ALL ERASE ➡ 編集モード解除(ソースの表示) ➡ DIVIDE

と選べます。

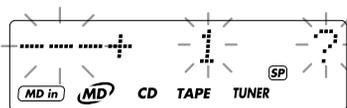
曲をつなげる(JOIN) ー番号順に操作します。ー

ジョイン

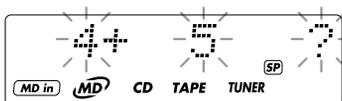
1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

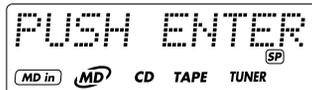
・ソース(音源)がMDになり、1曲目からの演奏になります。
(曲の確認がしやすくなります)

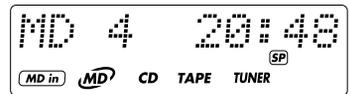
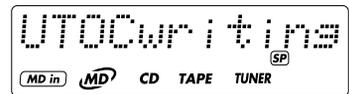
2 EDITを2回押して編集モードの「JOIN」を選ぶ

DIVIDE ➡ JOIN ➡ MOVE ➡ ERASE
編集モード解除 ⬅ ALL ERASE
(ソースの表示)

3 SETを押す

4 数字ボタンでつなげたい曲を選ぶ
(1つ前の曲とつなげることができます)

例： 5曲目を4曲目と1つにするとき

・選んだ曲(5曲目)がくり返し演奏になります。

5 SETを押す

(JOINを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

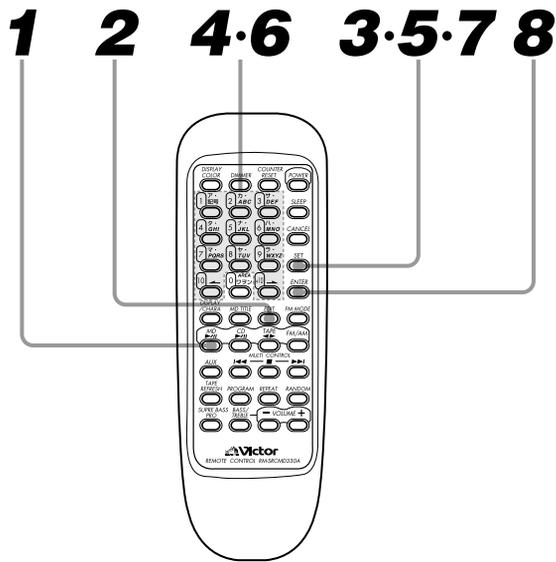
6 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、曲番号が1つ減ります。

● 編集操作を続けるときは、EDITボタンを押します。

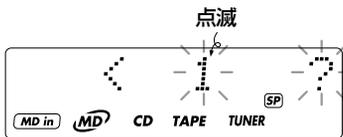
〈お知らせ〉

● 録音モード(SP、LP2またはLP4)の異なる曲をつなげることはできません。

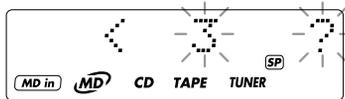
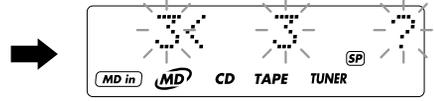
編集する

曲を移動する(MOVE) ―番号順に操作します。―

1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

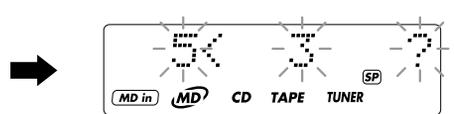
・ソース(音源)が「MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)

2 EDITを3回押して編集モードの「MOVE」を選ぶ

3 SETを押す

4 数字ボタンで移動したい曲を選ぶ

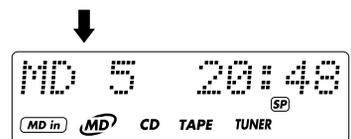
例: 3曲目のとき

・選んだ曲(3曲目)がくり返し演奏になります。

5 SETを押す

6 数字ボタンで移動先を選ぶ

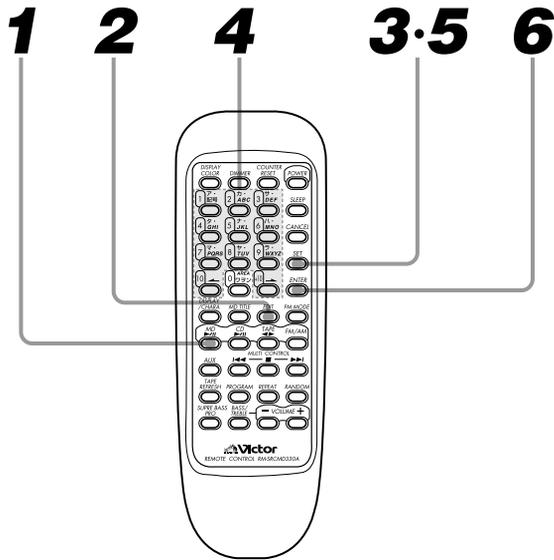
例: 5曲目に移動

・選んだ曲(5曲目)がくり返し演奏になります。

7 SETを押す

(MOVEを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

8 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、曲順が変わります。

● 編集操作を続けるときは、EDITボタンを押します。

1曲を消す(ERASE) ー番号順に操作します。ー

1 編集したいMDを入れ、MD▶/❚❚を押す

・ソース(音源)が「MD」になり、1曲目からの演奏になります。(曲の確認がしやすくなります)

2 EDITを4回押して編集モード「ERASE」を選ぶ

DIVIDE ➡ JOIN ➡ MOVE ➡ ERASE ⬇ ALL ERASE ⬅ 編集モード解除(ソースの表示) ⬆

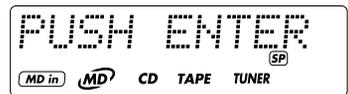
点滅

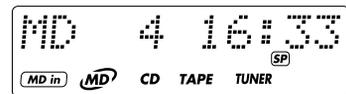
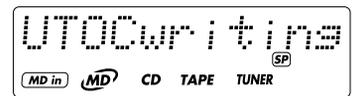
3 SETを押す

4 数字ボタンで消したい曲を選ぶ

例: 4曲目を消すとき

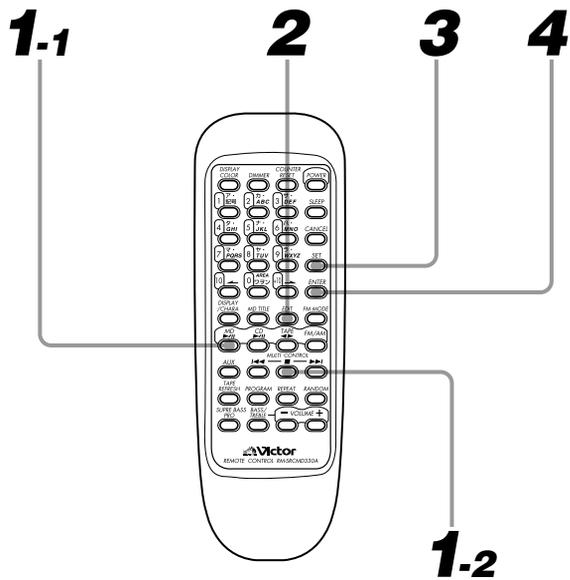
・選んだ曲(4曲目)がくり返し演奏になります。
・消したい曲の曲番号に合わせて数字ボタンを押します。

5 SETを押す

(ERASEを中止したいときは、CANCELボタンを2回押します)

6 ENTERを押す

・「UTOCwriting」が表示され、4曲目が消えます。5曲目が前につめられます。

● 編集操作を続けるときは、EDITボタンを押します。

〈お知らせ〉

● 一度消去すると録音内容は元には戻りません。
大切な録音が入っているMDは誤消去防止つまみを開いた状態(➡48ページ参照)にしておいてください。

編集する

全部の曲を消す（ALL ERASE） ー番号順に操作します。ー

他の機器を使う（聞く/録音する） ー番号順に操作します。ー

● **他の機器の音を聞く**

背面のAUX IN端子にレコードプレーヤーなどを接続しておきます。➡⑬ページ参照

1 AUXを押す

本　体　　AUX　　リモコン　　AUX

・電源が入り、ソース（音源）が「AUX」になります。

2 接続した他の機器の演奏を始める

・詳しくは他の機器の取扱説明書をご覧ください。

● **他の機器の音を録音する**

あらかじめ録音用のMDまたはテープを入れておきます。

1 AUXを押す

本　体　　AUX　　リモコン　　AUX

・電源が入り、ソース（音源）が「AUX」になります。

2 録音状態にする

・MDに録音するとき

録音用のMDを入れMD REC TIMEボタンで録音モード（SP,LP2またはLP4）を選び… ➡ MD REC

・テープに録音するとき

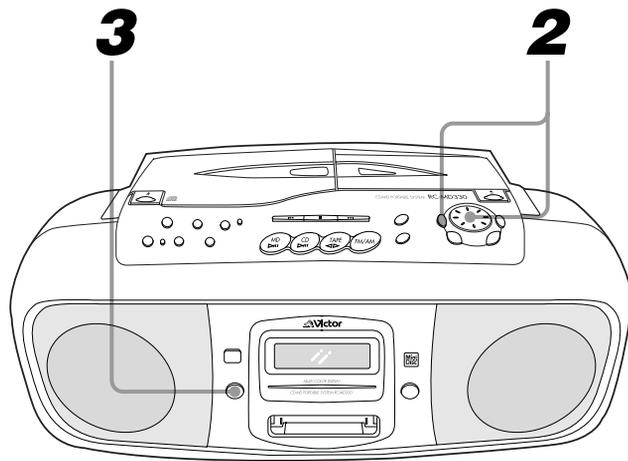
録音用のテープを入れREV. MODEボタンでリバースモード（⥂または⇄）を選び… ➡ TAPE REC

● MD RECとTAPE RECボタンを同時に押すと、MDとテープの同時録音ができます。

3 接続した他の機器の演奏を始める

● **録音を途中でやめるときは**

■（停止）ボタンを押します。

目覚ましタイマー（タイマー再生） ー番号順に操作します。ー

● 好きな音楽によってお目覚めになることができます。

1 聞きたい音を準備する
（電源「切」のときはPOWERボタンを押す）

CDの演奏	CDを入れておく。
MDの演奏	MDを入れておく。
テープ再生	聞きたい面を上にしてテープを入れておく。動作時間に合わせてリバースモードを選びます。
放　　送	FM/AMボタンを押して聞きたい放送局を選局しておく。

2 タイマー予約をする（➡43ページ参照）

①タイマー予約ができる状態にする。
②開始時刻と終了時刻を設定する。
③タイマーモードを選ぶ。
④タイマー動作中の音量を設定する。
・音量は任意に設定できます。

3 POWER押して電源を切る

・「SEE YOU」が表示され電源が切れます。
・表示窓にタイマー表示（◴）が表示されているか確認してください。

● 予約した開始時刻になるとタイマー再生が始まり、終了時刻で電源が切れます。
なお、電源が切れてもタイマー表示（◴）は残ります。
次の日も同じ時刻、同じタイマー予約の内容で使うことができます。

● **音量設定とフェードイン動作について**
タイマー予約で音量を設定すると、タイマー再生スタート時は音量ゼロから設定した音量まで、自動的にボリュームが上がるフェードイン動作をします。
これをウェイクアップボリュームといいます。

● **タイマー動作の取り消し**
休日の前夜などに利用すると便利です。
TIMERボタンを押してタイマー表示（◴）を消します。再設定するときは、TIMERボタンを7回押してタイマー表示（◴）を表示させます。

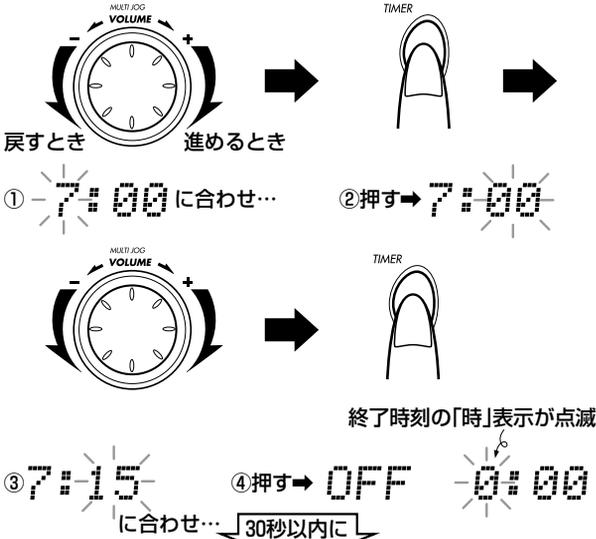
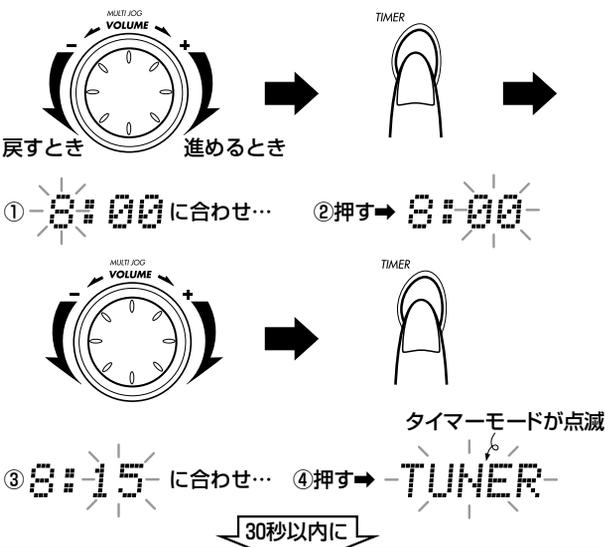
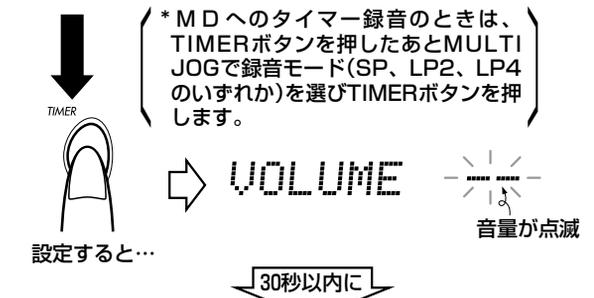
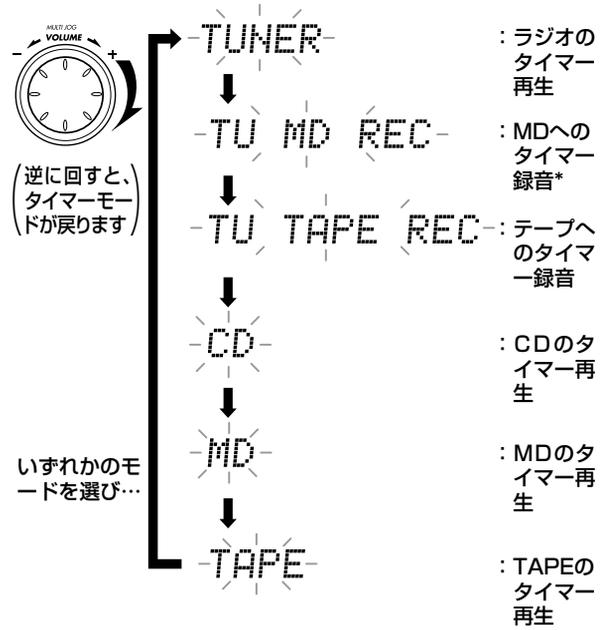
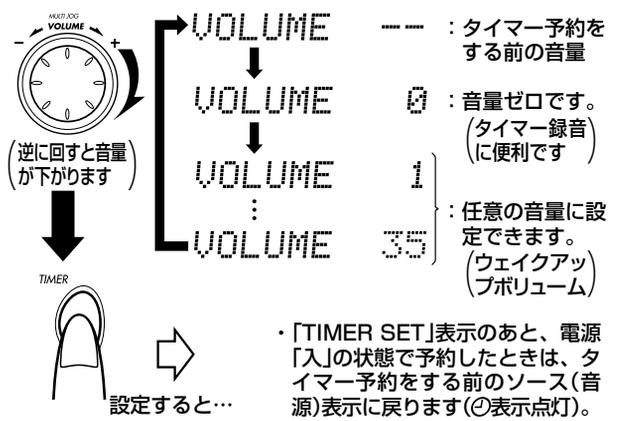
● **タイマー予約の確認**
タイマー表示（◴）が表示されているとき

・TIMERボタンを押したあと、さらにTIMERボタンを押します。

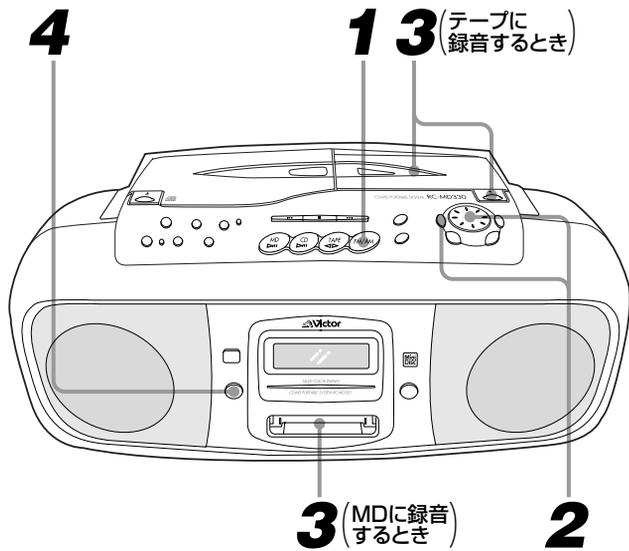
TIMERボタンを押すと、タイマー動作が取り消されます。もう一度押すと「開始時刻」が表示されます。このあとTIMERボタンを押すごとに「開始時刻➡終了時刻➡タイマーモード➡音量」が表示されます。
「TIMER SET」表示のあと、元のソース（音源）表示に戻ったら終わりです。

〈お知らせ〉
● タイマー再生を途中でやめるときは、POWERボタンを押して電源を切ってください。
● CDやMDをプログラム順にタイマー再生することはできません。

あらかじめ現在時刻を正しく合わせておいてください。➡⑭ページ参照

タイマー予約のしかた（予約内容を変更するときも同じです）　－電源「切」でも設定できます。－

次はタイマーモードを選びます。

- あとはタイマーモードに合わせ、必要な操作をします。➡㊷ページ「目覚ましタイマー」または㊹ページ「録音タイマー」参照

〈お知らせ〉
- タイマー予約の内容は、一度設定するとメモリー（記憶）されます。変更するときは、上記の**1**から操作をやり直してください。
  ただし、停電状態になるとメモリーは解除されます。
- 設定を間違えたり表示が変わってしまったときは…
  上記**1**から操作をやり直してください。
- 設定の途中でリモコンのCANCELボタンを押すと、前の内容に戻ります。

録音タイマー（放送の留守録音） ー番号順に操作します。ー

● 外出中でも放送の留守録音ができます。

1 FM/AMを押して録音したい放送局を選ぶ

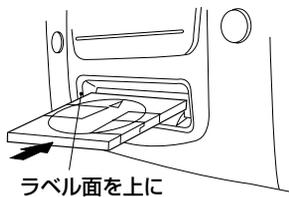
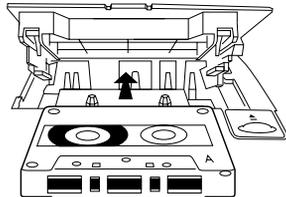
➡24ページ参照

2 タイマー予約をする（➡43ページ参照）

①タイマー予約ができる状態にする。
②開始時刻と終了時刻を設定する。
・1分程度の余裕をとって予約します。
③タイマーモードはTU（チューナー） MD RECまたはTU TAPE RECを選ぶ。
④TU MD RECを選んだときは、録音モード（SP、LP2またはLP4のいずれか）を選ぶ。
⑤タイマー動作中の音量を設定する。
・VOLUME　0に設定しておくと、録音中の音はスピーカーからは出ません。

3 録音用のMDまたはテープを入れる

・MDに録音するとき

ラベル面を上に

・テープに録音するとき

・録音したい面を上にしてテープを入れ、REV. MODEボタンを押してリバースモードを選んでおきます。
・ノーマルテープ（TYPE I）を使います。

4 POWERを押して電源を切る

・「SEE YOU」表示のあと電源が切れます。
・表示窓にタイマー表示（⏱ REC）が表示されているか確認してください。

● 予約した開始時刻になると録音がスタートし、終了時刻で電源が切れます。

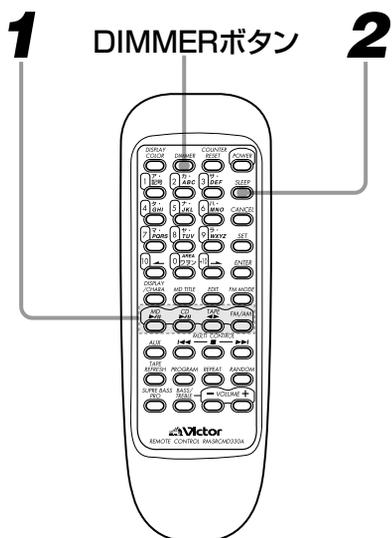
● 次の日も同じ時刻に同じ放送局をタイマー録音するときは…
TIMERボタンを押してタイマー表示（⏱ REC）を表示させ、再設定します。

ちょっと一言

● タイマーの開始時刻と終了時刻は一度予約するとメモリー（記憶）されます。
時刻を変更したいときは、タイマー予約をし直してください。

〈お知らせ〉

● 停電状態になると、タイマー予約は取り消されます。
このようなときは、時計を合わせ直してからタイマー予約をしてください。

おやすみタイマー* ー番号順に操作します。ー

*おやすみタイマーとは…
テレビなどのオフタイマーと同じ機能で、指定の時間が経過すると自動的に電源を切ります。

● CDの演奏などを聞きながらおやすみになるには

1 聞きたいソース(音源)の音を出す

	操　　作
CDの演奏	CDを入れ、CD▶/❚❚ボタンを押して演奏する。
MDの演奏	MDを入れ、MD▶/❚❚ボタンを押して演奏する。
テープ再生	テープを入れ、TAPE◀▶ボタンを押して再生する。動作時間に合わせてリバースモードを選びます。
放　　送	FM/AMボタンを押して聞きたい放送局を選局する。

2 リモコンのSLEEPを押して動作時間を選ぶ

・SLEEPが表示窓に表示され、10、20、30、60、90、120分のいずれかに設定できます。設定後4秒で設定前のソース(音源)表示に戻ります。このとき表示窓が自動で暗くなります(DIMMER2の状態)。

⋮

● おやすみタイマーがスタートし、指定の時間を経過すると電源が切れます。

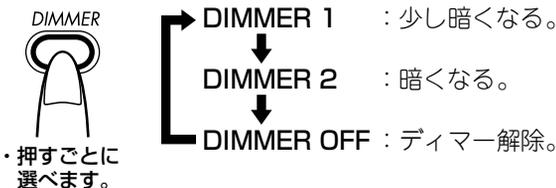
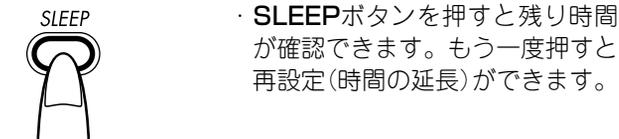
● 表示窓を明るくするときは(ディマー機能)

おやすみタイマーを使っているときなど表示窓の明るさを変えるときは、DIMMERボタンを押します。

DIMMER
・押すごとに選べます。

DIMMER 1　：少し暗くなる。
↓
DIMMER 2　：暗くなる。
↓
DIMMER OFF ：ディマー解除。

● おやすみタイマーの動作時間の確認

・SLEEPボタンを押すと残り時間が確認できます。もう一度押すと再設定(時間の延長)ができます。

● おやすみタイマーを使っておやすみになり、翌朝、タイマー再生でおめざめになるには

1. 目覚ましタイマーを設定する
   ➡42ページ参照
2. おやすみ時に聞きたい音を出す
3. SLEEPを押して動作時間を選ぶ

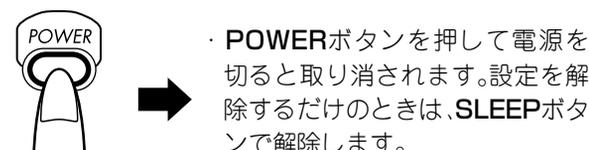
● おやすみタイマーのソース(音源)と、タイマー再生のソース(音源)は任意に選べます。

例えば

おやすみタイマー	CDの演奏	テープ再生
タイマー再生	放　　送	MDの演奏

ただし、両方とも放送を選んだときは、おやすみ時の最後に聞いていた放送局を翌朝も聞くことができます。

● おやすみタイマーの取り消し

・POWERボタンを押して電源を切ると取り消されます。設定を解除するだけのときは、SLEEPボタンで解除します。

エリアガイド放送局一覧

●エリアガイド放送局一覧

AM放送の場合、エリアガイド機能により地域ごとに下記の周波数が呼出せます。

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
011、0123～0129 0131～0136 0141～0149	北海道	札幌	NHK1 567kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	HBC 864kHz	NHK1 945kHz	NHK2 1,125kHz	HBC 1,287kHz	STV 1,440kHz	*
0150～0152 0157～0159	北海道	網走 北見	NHK2 702kHz	NHK2 747kHz	HBC 801kHz	STV 909kHz	NHK1 1,188kHz	HBC 1,449kHz	STV 1,485kHz	NHK1 1,584kHz	*
0153～0156	北海道	釧路	NHK1 585kHz	NHK1 603kHz	STV 882kHz	STV 1,071kHz	NHK2 1,125kHz	NHK2 1,152kHz	HBC 1,269kHz	HBC 1,404kHz	*
0137～0139	北海道	函館	NHK1 567kHz	STV 639kHz	NHK1 675kHz	NHK2 747kHz	STV 882kHz	HBC 900kHz	HBC 1,269kHz	NHK2 1,467kHz	*
0160～0169	北海道	旭川	NHK1 621kHz	NHK2 747kHz	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	HBC 864kHz	NHK1 927kHz	STV 1,197kHz	NHK2 1,602kHz	*
0172～0179	青森	青森	NHK2 774kHz	NHK1 963kHz	NHK1 999kHz	RAB 1,233kHz	RAB 1,485kHz	*	*	*	*
018 0182～0189	秋田	秋田	NHK2 774kHz	ABS 936kHz	NHK1 1,503kHz	*	*	*	*	*	*
019 0190～0199	岩手	盛岡	NHK1 531kHz	IBC 684kHz	NHK2 774kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*
022 0220～0229	宮城	仙台	NHK1 891kHz	NHK2 1,089kHz	TBC 1,260kHz	*	*	*	*	*	*
023 0233～0239	山形	山形	NHK1 540kHz	NHK2 774kHz	YBC 918kHz	NHK1 1,368kHz	*	*	*	*	*
024 0240～0249	福島	郡山	NHK2 693kHz	NHK1 846kHz	RFC 1,098kHz	RFC 1,458kHz	*	*	*	*	*
025 0250～0259	新潟	新潟	NHK1 792kHz	NHK1 837kHz	BSN 1,062kHz	BSN 1,116kHz	BSN 1,530kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*
026 0260～0269	長野	長野	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 693kHz	NHK1 819kHz	SBC 864kHz	SBC 1,098kHz	*	*	*
027 0270～0279	群馬	前橋	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*	*
028 0280～0289	栃木、茨城	宇都宮	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	CRT 1,530kHz	*	*	*
029 0290～0299	茨城	水戸	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	IBS 1,197kHz	ニッポン 1,242kHz	IBS 1,458kHz	*	*
03、042、043、044、045 047、048、0421～0499	東京、神奈川 千葉、埼玉	東京	NHK1 594kHz	NHK2 693kHz	AFN 810kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	ラジオニホン 1,422kHz	*	*
052、0521～0529 0531～0536	愛知	名古屋	NHK1 729kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	SBS 1,404kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
053、054 0537～0549	静岡	静岡	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	*	*	*	*	*	*
055 0551～0557	山梨	甲府	NHK2 693kHz	YBS 765kHz	NHK1 927kHz	TBS 954kHz	ブンカ 1,134kHz	ニッポン 1,242kHz	*	*	*
0550 0558～0559	静岡	沼津	NHK2 639kHz	NHK1 882kHz	SBS 1,404kHz	SBS 1,557kHz	*	*	*	*	*
058 0561～0589	愛知、岐阜	岐阜	NHK1 729kHz	NHK1 792kHz	NHK2 909kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	GIFU 1,431kHz	*	*	*
058 0592～0599	三重	津	NHK1 729kHz	NHK2 828kHz	CBC 1,053kHz	トウカイラジオ 1,332kHz	*	*	*	*	*
06 0720～0729	大阪	大阪	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
073 0734～0739	和歌山	和歌山	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	WBS 1,431kHz	*	*	*

- ＊印の欄および**P10～P15**には放送局がメモリーされておりません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。➡㉕ページ「放送局を選んで記憶させる」を参照
- 放送局名は表示窓に表示されます。

● エリアガイド放送局一覧

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	表示窓の表示とプリセットされている放送局の周波数(Pはプリセットのことです)								
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9
075 0740~0759	京都 奈良、滋賀	京都	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
076 0761~0762	石川	金沢	MRO 1,107kHz	NHK1 1,224kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
0763~0766	富山	富山	NHK1 648kHz	KNB 738kHz	NHK2 1,035kHz	*	*	*	*	*	*
0760 0767~0769	石川	七尾	NHK1 540kHz	MRO 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*	*
077 0771~0775	京都、滋賀	大津	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	KBS 1,143kHz	MBS 1,179kHz	KBS 1,215kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*
0770 0776~0779	福井	福井	FBC 864kHz	NHK1 927kHz	NHK2 1,521kHz	*	*	*	*	*	*
078 0790~0799	兵庫	神戸	AM KOBE 558kHz	NHK1 666kHz	NHK2 828kHz	ABC 1,008kHz	MBS 1,179kHz	OSAKA 1,314kHz	*	*	*
082、0823~0826 0828~0829	広島	広島	NHK2 702kHz	NHK1 1,071kHz	RCC 1,350kHz	*	*	*	*	*	*
083 0832~0839 0820、0827	山口	山口	NHK1 675kHz	KRY 765kHz	KRY 918kHz	NHK2 1,377kHz	AFN 1,575kHz	*	*	*	*
0840~0849	広島	尾道	NHK1 999kHz	RCC 1,530kHz	NHK2 1,602kHz	*	*	*	*	*	*
0851~0856	島根	松江	BSS 900kHz	NHK1 1,296kHz	BSS 1,431kHz	NHK2 1,593kHz	*	*	*	*	*
0857~0859	鳥取	米子	BSS 900kHz	NHK1 963kHz	NHK2 1,125kHz	NHK1 1,368kHz	BSS 1,431kHz	*	*	*	*
086 0863~0869	岡山、広島	岡山	NHK1 603kHz	NHK2 1,386kHz	RSK 1,494kHz	*	*	*	*	*	*
087 0875~0879	香川	高松	NHK2 828kHz	NHK2 1,035kHz	NHK1 1,368kHz	RNC 1,449kHz	*	*	*	*	*
0883~0886	徳島	徳島	NHK2 828kHz	NHK1 945kHz	JRT 1,269kHz	*	*	*	*	*	*
0880 0887~0889	高知	高知	RKC 900kHz	NHK1 990kHz	NHK1 999kHz	NHK2 1,152kHz	RKC 1,197kHz	*	*	*	*
089 0892~0899	愛媛	松山	NHK1 846kHz	NHK1 963kHz	Nancy 16 1,116kHz	NHK2 1,512kHz	*	*	*	*	*
092、093、0920 0930、0940~0949	福岡 長崎	福岡	NHK1 612kHz	NHK2 1,017kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	*	*	*	*	*
0951~0955	佐賀	佐賀	NHK1 612kHz	NHK2 873kHz	NHK1 963kHz	RKB 1,278kHz	KBC 1,413kHz	NBC 1,458kHz	*	*	*
0950、095 0956~0959	長崎	長崎	NHK1 684kHz	NHK2 873kHz	NHK1 981kHz	NBC 1,098kHz	NBC 1,233kHz	*	*	*	*
096 0964~0969	熊本	熊本	NHK1 756kHz	NHK1 846kHz	NHK2 873kHz	RKK 1,197kHz	NHK1 1,341kHz	*	*	*	*
097 0972~0979	大分	大分	NHK1 639kHz	NHK2 873kHz	OBS 1,098kHz	*	*	*	*	*	*
0982~0987	宮崎	宮崎	NHK1 540kHz	NHK1 621kHz	NHK2 873kHz	MRT 936kHz	OBS 1,098kHz	NHK2 1,467kHz	*	*	*
098、0980 0988~0989	沖縄	那覇	NHK1 540kHz	NHK1 549kHz	AFN 648kHz	RBC 738kHz	ROK 864kHz	NHK2 1,125kHz	*	*	*
099 0991~0999	鹿児島	鹿児島	NHK1 576kHz	NHK1 792kHz	MBC 1,107kHz	NHK2 1,386kHz	*	*	*	*	*

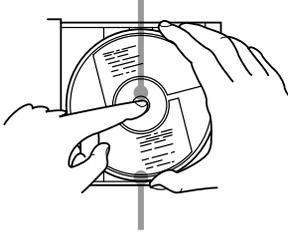
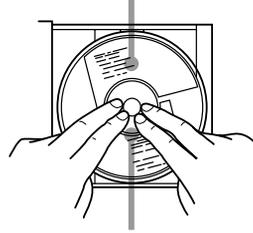
〈お知らせ〉

● 市外局番が変更になったときは、変更前の市外局番を入力してください。

CDについて

CDの取り扱いかた

●ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ

演奏面（虹色に光っている面）に触れないように持って出す。

文字のある面を上にして…

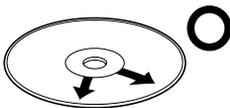
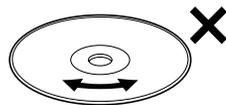
上から押さえて入れる。

●CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
●CDは曲げないでください。

●**文字のある面にCOMPACT disc DIGITAL AUDIOのマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。**

●**ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。**

CDのお手入れ

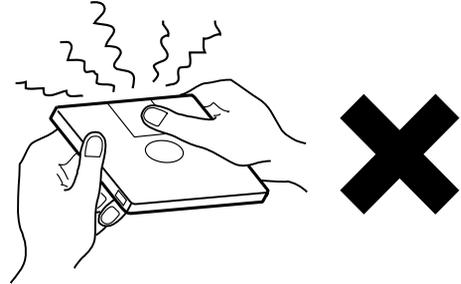
演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

●**シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。**

MDについて

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

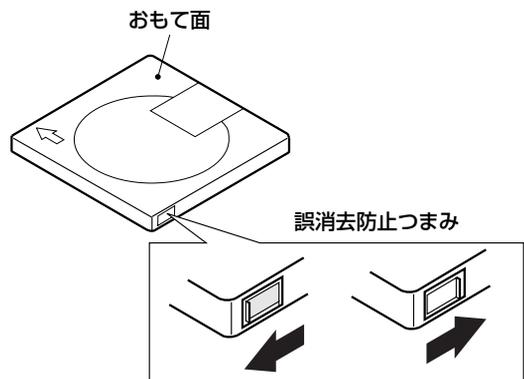
シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。

置き場所に気をつけて

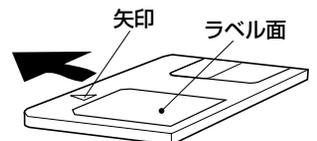
次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
・風呂場など湿気の高いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

録音・編集するにはつまみを閉じる　誤って消してしまわないようにつまみを開く（消去防止）

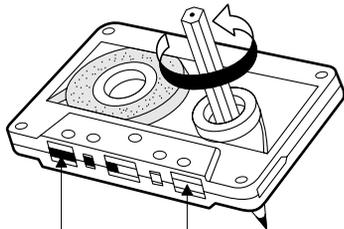
〈お知らせ〉
●曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれなかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
●MDは▷などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

カセットテープについて

カセットテープの取り扱いかた

● テープにたるみがありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。

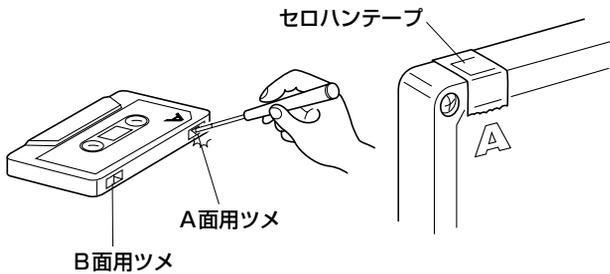
● テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。

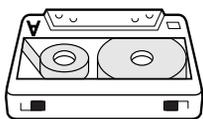
● **C-120などの長時間テープについて**
長い時間使えて便利ですが、薄く伸びやすいためこきざみな走行、停止、および早送り･巻戻しをくり返すと、テープが機械に巻き込まれる原因となります。なるべく90分(C-90)以下のテープをご使用ください。

● **リーダーテープについて**
テープの始まりと終わりには、録音できない部分…リーダーテープ…があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

● ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。

● 再び録音したいときはツメの穴をセンロハンテープなどでふさぎます。

カセットテープの種類検出穴について

本機は、オートテープセレクト方式になっていますので、テープの種類は自動的に判別されます。

ハイポジションテープ(TYPE II)の種類検出穴

・ハイポジションテープは、再生に限り使えます。メタルテープ(TYPEⅣ)には対応しておりませんので使用しないでください。

・ノーマルテープ(TYPE I)には、この検出穴はありません。

お手入れ

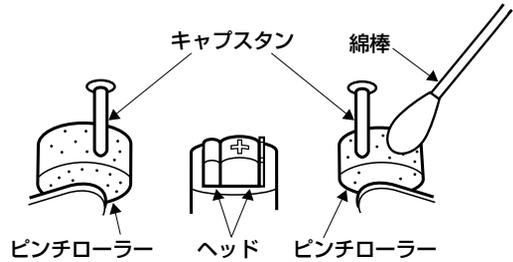
本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

お願い

● **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

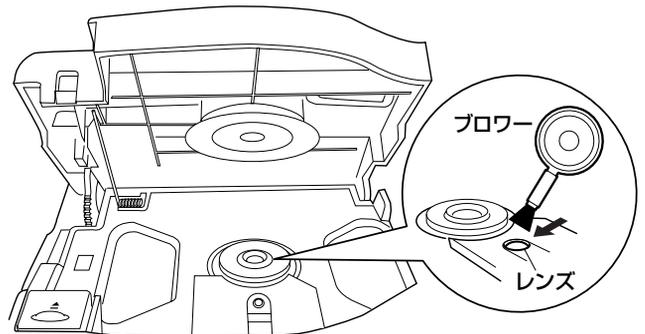
テープデッキのヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

・市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

● **ヘッドの消磁について**
ヘッドが磁化されると、高音が聞こえにくくなったり雑音が多くなります。このようなときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

CDプレーヤーのレンズの清掃

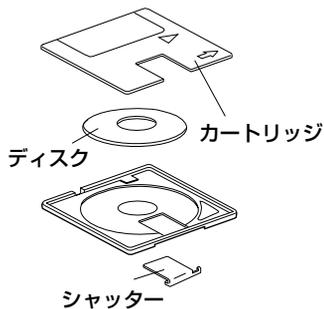
レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。
CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

● ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使ってゴミをはき出してください。

● 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。

MDの技術解説

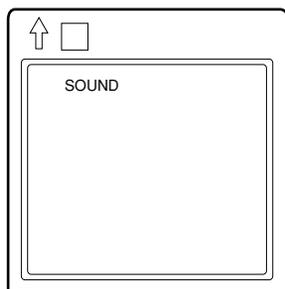
MD-80使用で80分の再生または録音ができる直径64㎜のディスクを使った新しいデジタルオーディオ、それがMDです。

カートリッジのはたらき

ディスク自体の直径は、8センチCDよりも小さな64㎜。このディスクがカートリッジの中に収められています。カートリッジの大きさも、68×72㎜、厚さ5㎜のポケットサイズ。持ち運びや収納がとてもラクです。また、カートリッジに守られているのでほこりやゴミがつきにくく、しかも、使用中のとき以外は閉じているシャッターのおかげで、ディスクにキズや指紋をつける心配もありません。取り扱いがたいへん手軽です。

2種類のディスク

MDには、録音できる「録音用MD」と再生しかできない「再生専用MD」との2種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクも、レーザー光を照射しその反射によって信号を読み取るという同じ方式ですが、記録のしかたが異なります。

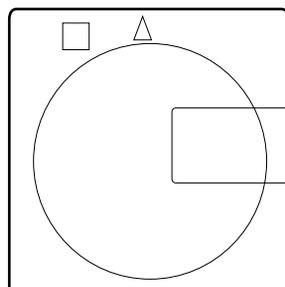
再生専用MD

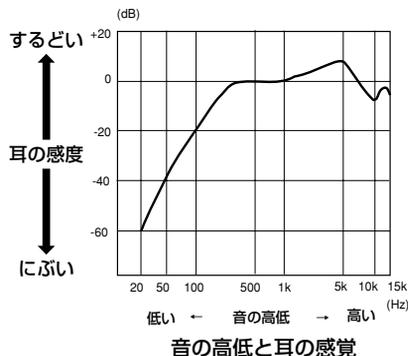
市販のMDソフトに使用されているタイプです。録音はできません。CDと同様、ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」といいます。

再生専用MD

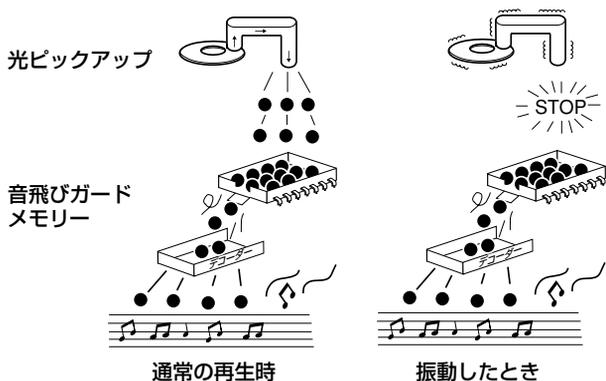
録音用MD

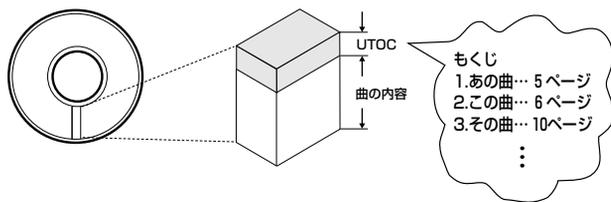
自分で録音することのできる、いわゆる「生MD」です。何度も録音しなおせるように、加工しやすい磁気によってデータが記録されます。レーザー光をあてて熱することにより磁気を消し、そこに磁気ヘッドで記録していきます。このような記録方式のディスクを〔光磁気(MO：Magneto（マグネット） Optical（オプティカル）)ディスク〕といいます。

録音用MD

ATRAC（Adaptive Transform Acoustic Coding）（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）

音の中には、実際にはよく聴こえない音が混ざっています。例えば、音が小さいときは低音や高音は聴こえにくくなります。また、大きい音と同時または直後に小さい音が鳴ってもその音は聴こえません。MDでは、〔ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)〕という技術を使って、こうした人間の聴感特性に基づき音を取捨選択することによりデータを小さく圧縮しています。この技術により、記録するデータは元のデータの約1/5の量になり、小さなMDにも収めることが可能となりました。さらにATRAC 3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

音の高低と耳の感覚

音飛びガードメモリー

MDを再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能「音飛びガードメモリー」が働いています。この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

UTOC（User Table of Contents）（ユーザー テーブル オブ コンテンツ）

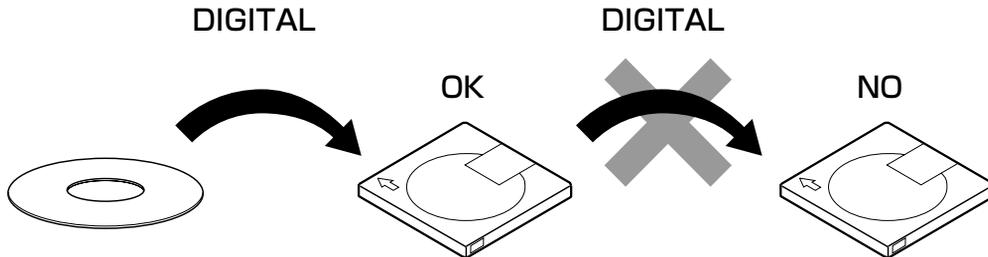
録音用MDには、曲の内容とは別に、「目次(UTOC)」があります。これは、各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

デジタル録音のきまり(SCMS)

CDからデジタル信号のままデジタル録音したMDには、著作権保護のため次のような決まりがあります。

SCMS(Serial Copy Management System)

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

〈お知らせ〉

- 本機を使ってCDの音をデジタル録音したMDは、他の機器でデジタルコピーすることはできません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

■私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
電　　話　03-5353-0336(代)

倍速録音の制限について

- 本機は、CDを倍速でMDに録音(コピー)することができます。このため著作権を保護するための規制が設けられています。つまり一度録音したCDの曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、再録音(倍速または定速録音)はできないようになっています。
  例えば、8センチCDの1曲目を何回もプログラムして倍速録音するという使いかたは、できません。「HCMS CANNOT COPY」と表示され、「ピッピッピ」音のあと録音が解除されます。

故障かな?と思う前に

ーおや?故障かな?と思ったら…
修理に出す前にもう一度お確かめください。ー

	症　状	原　因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音がでない。	・ヘッドホンがつながれている。	・ヘッドホンのプラグを抜く。	13
	表示窓の時刻表示が点滅している。	・20分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	14
CDプレーヤー部	演奏が始まらない。	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	18
		・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	特定の個所が正常に演奏できない。	・CDにキズがある。	・CDを交換する。	•
MDレコーダー部	入れたMDが出てきてしまう。	・MDの入れかたが不完全なため。	・本体に平行な状態にして軽くMDを押して入れ直す。	•
	演奏が始まらない。	・レンズに露がついている。	・電源を入れたまま、数時間待ち乾いてから使う。	7
	録音ができない。	・MDが誤消去防止状態になっている。(DISC PROTECTEDが表示)	・MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。	48
テープデッキ部	再生音が小さい。	・ヘッドが汚れている。	・ヘッドを清掃する。	49
	TAPE RECボタンを押しても録音状態にならない。	・カセットの誤消去防止用のツメが折れている。	・セロハンテープなどでツメの穴をふさぐ。	49
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	・アンテナの調節が悪い。	・アンテナの調節をし直す。または設置場所を変える。	12
		・テレビやOA機器がそばにある。	・テレビやOA機器などから離す。	•
タイマー部	タイマーがスタートしない。	・現在時刻が合っていない。	・正しい時刻に設定し直す。	14
		・タイマー表示(◴)が表示されていない。	・TIMERボタンを押してタイマー表示(◴)を表示させ、再設定する。	43
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池(単3形)と交換する。	11
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	11

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは**

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

● 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お願い

● 本機の故障または不具合等により録音、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●MD(ミニディスク)のメッセージ表示一覧

メッセージ	意　　味	処　　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMDと取り換えてください。
CANNOT JOIN	録音モードが異なるトラックをつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
DISC ERROR	MDが異常（損傷している）。	MDを取り換える。
DISC FULL	MDの空き時間が足りない。 曲番号が254を超える。 (254曲まで録音可能)	他の録音用MDと取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にする。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)ボタンでいったん停止してから操作しなおしてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM（ビデオCDなど）をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK MD	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除します。
SCMS CANNOT COPY	デジタルダビングのコピーのコピーを作ろうとした。	アナログで録音する。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再録音しようとしたため。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待ってから録音してください。
CAN NOT LISTEN	倍速録音中に音量・音質調節をしたため	倍速録音中は、CDの演奏音が出ません。終わるまで待ってください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

CD-MDポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または55ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

52ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　－

別売アクセサリー

・ヘッドホン：HP-F300C（ダイナミック型）
・フォノイコライザー：AC-S100J
・フルオートプレーヤー：AL-E350（MM型カートリッジ）
・オーディオミキサー：MI-A40
・電源コード：CN-325A（長さ1.8m）
・整合器：VZ-71A
・接続コード：CN-201A（AUX IN端子の接続用）
・クリーニングキット：CK-25（CD用）
・CDレンズクリーナー：CL-CDL
・MDレンズクリーナー：CL-ML
・カセットデッキ用ヘッドクリーナー：CK-6

■別売りアクセサリーはお買い上げの販売店でお求めください。
■この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	苫小牧 S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森 S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松 S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越 S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)638-2938	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮 S.C	(028)635-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津 S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3グレイスビル1F
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越 S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀 S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1－3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀 S.S.	(095)226-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.C.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0400

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

〈CDプレーヤー部〉

形　　式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

〈MDレコーダー部〉

形　　式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
録音再生時間	録音モードSP　：80分 LP2　：160分 LP4　：320分 （MD80使用）
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MD LP）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

〈チューナー部〉

受信周波数	FM：76.0〜108.0MHz AM：531〜1,629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型／ロッドアンテナ AM：ループアンテナ

〈テープレコーダー部〉

トラック方式	コンパクトカセット・ステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去（2ギャップフェライト） 録音・再生（ハードパーマロイ） コンビネーション×1
早巻時間	約200秒（C-60）
周波数範囲	ノーマルテープ ：60Hz〜12.5kHz（EIAJ）

〈タイマー部〉

タイマー形式	1日1動作（オン・オフタイマー）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分（ディマー機能付）
時計表示	24時間表示

〈共通部〉

スピーカー	9㎝（×2）、4Ω
入力端子	AUX（×1）、500mV 入力インピーダンス49kΩ
出力端子	PHONES（×1）、15mW/32Ω 適合インピーダンス16Ω〜1kΩ
実用最大出力	4W＋4W（EIAJ/AC）
電　　源	AC100V（50Hz/60Hz共用）
消費電力	電源　入（ON）時29W 切（STANDBY）時2W
最大外形寸法	幅458×高さ190×奥行269㎜（EIAJ）
質　　量	約6.1kg

● EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

・本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコープレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

・リモコン（RM-SRC MD330A*：ブルーのとき）…… 1
・単3形乾電池（リモコン動作確認用）…… 2
・電源コード（長さ1.5m）…… 1
・AMループアンテナ …… 1

*リモコンの型名は、色によって異なります。詳しくは⑦ページをご覧ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理の依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
54ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**東京…☎(03)5684-9311** 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪…☎(06)6765-4161** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

Victor　JVC
日本ビクター株式会社
パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543　群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1　☎ダイヤルイン(027)254-8952

0600 MOMOZKJEM